

成田市インターネット市政モニター アンケート集計結果

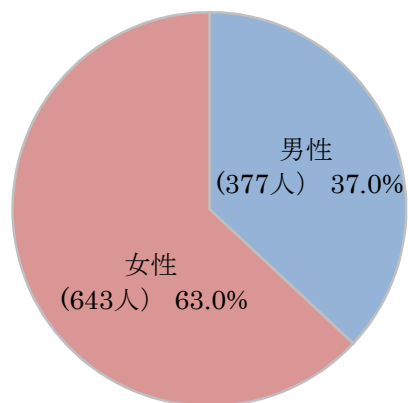
第 90 回のテーマは「歯と口腔の健康づくりに関するアンケート」でした。

配信者数:1,444 人

実施期間:令和 5 年 6 月 2 日(金)~6 月 12 日(月)

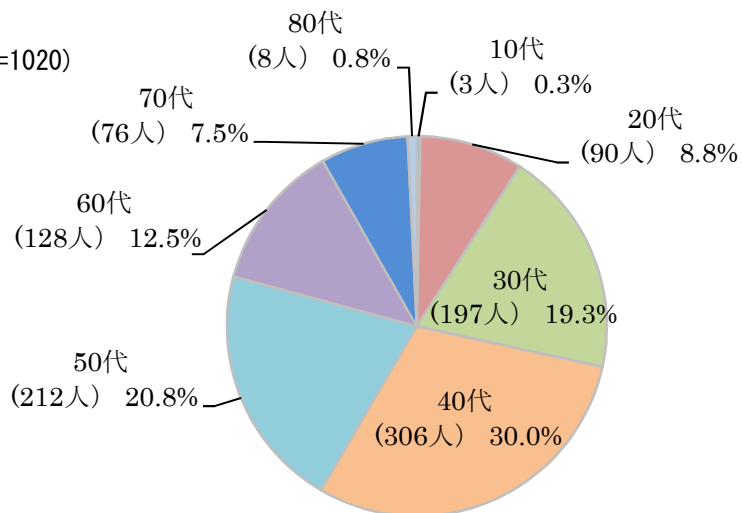
回答者数(回答率):1,020 人(70.64%)

性別
(回答者数=1020)



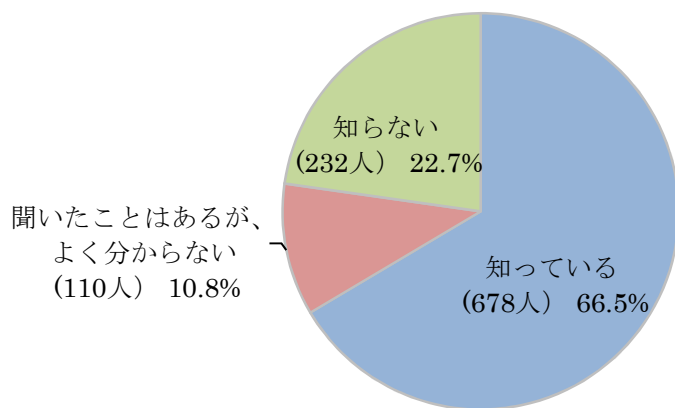
単一回答	人	%
全体	(1020)	
1 男性	377	37.0
2 女性	643	63.0

年代
(回答者数=1020)



単一回答	人	%
全体	(1020)	
2 10代	3	0.3
3 20代	90	8.8
4 30代	197	19.3
5 40代	306	30.0
6 50代	212	20.8
7 60代	128	12.5
8 70代	76	7.5
9 80代	8	0.8

[Q1] 8020（はちまるにいまる）運動を知っていますか。
 (回答者数=1020)

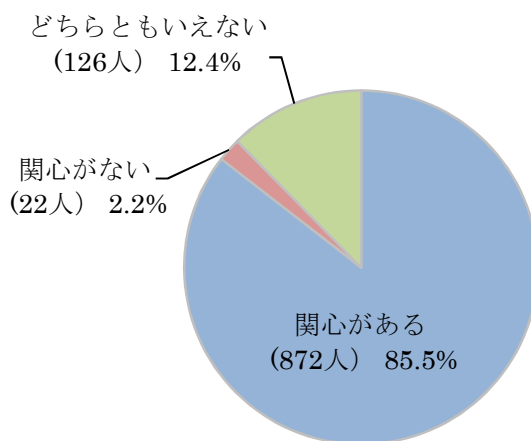


単一回答	人	%
全体	(1020)	
1 知っている	678	66.5
2 聞いたことはあるが、よく分からない	110	10.8
3 知らない	232	22.7

8020 運動について「知っている」人の割合は 66.5%となり、わずかではあります但し令和元年のアンケート時 63.1%から、8020 運動の認知度が高まっていることがわかります。

80 歳で 20 本以上自分の歯があることで、なんでもおいしく食べられることができると言われています。引き続き、認知度の向上や、8020 の達成者増加に向けて 8020 運動の啓発に努めてまいります。

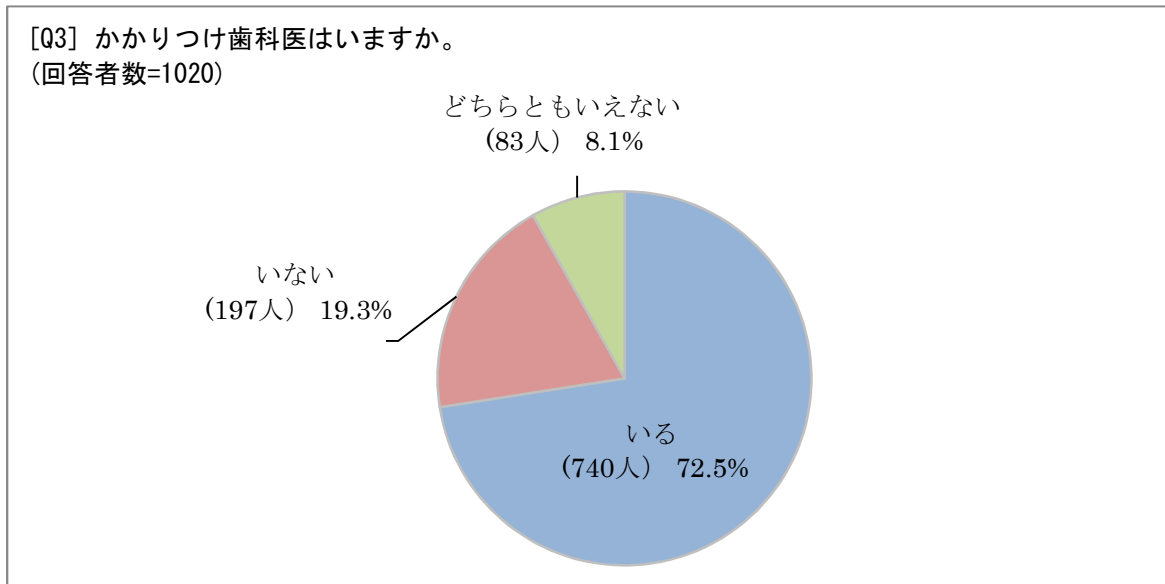
[Q2] 自身の歯と口腔の健康に関心がありますか。
 (回答者数=1020)



単一回答	人	%
全体	(1020)	
1 関心がある	872	85.5
2 関心がない	22	2.2
3 どちらともいえない	126	12.4

自身の歯と口腔の健康について「関心がある」人の割合は 85.5%でした。

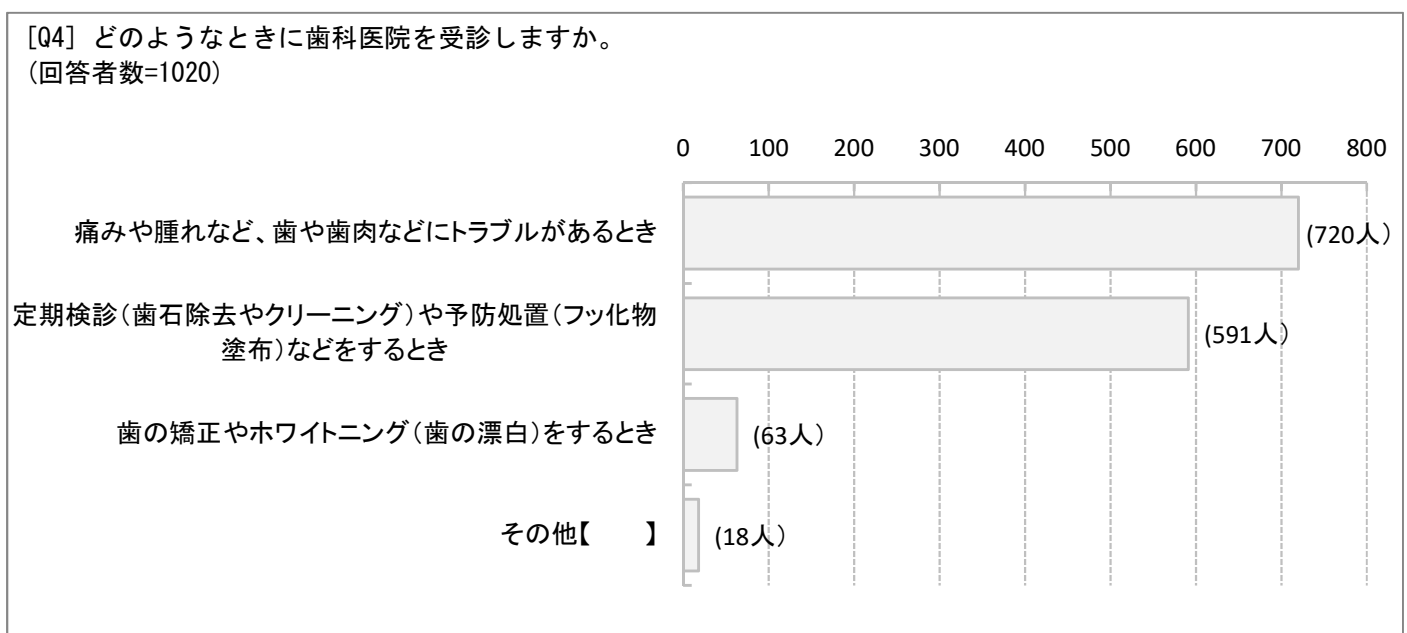
また、「どちらともいえない」、「関心がない」と回答した人は 14.6%で、令和元年のアンケート時の 16.8%と比較すると、約 2%減少しており、関心を持つ割合が増加していることがわかります。歯と口腔の健康は、生活習慣病の予防に資するなど、全身の健康に関係しています。特に歯周病は代表的な生活習慣病で、心疾患・脳血管疾患・糖尿病などと深い関係があります。また、低体重児早産、誤嚥性肺炎などのリスクが高まることなど、歯と口腔の疾患と全身の健康との関係は、年齢を問わず良好に保つことが重要です。



単一回答	人	%
全体	(1020)	
1 いる	740	72.5
2 いない	197	19.3
3 どちらともいえない	83	8.1

かかりつけ歯科医が「いる」人は 72.5%でした。令和元年に実施したアンケートでは、66.8%の人がかかりつけ歯科医がいると回答しており、かかりつけ歯科医を持つ割合が増加しました。

かかりつけ歯科医は、「気軽に相談できる」、「個人の心身状態や生活状態に合った適切な指導や治療が受けられる」など、歯と口腔の健康維持に欠かせないものです。かかりつけ歯科医を持つことの利得について引き続き周知していく必要があります。

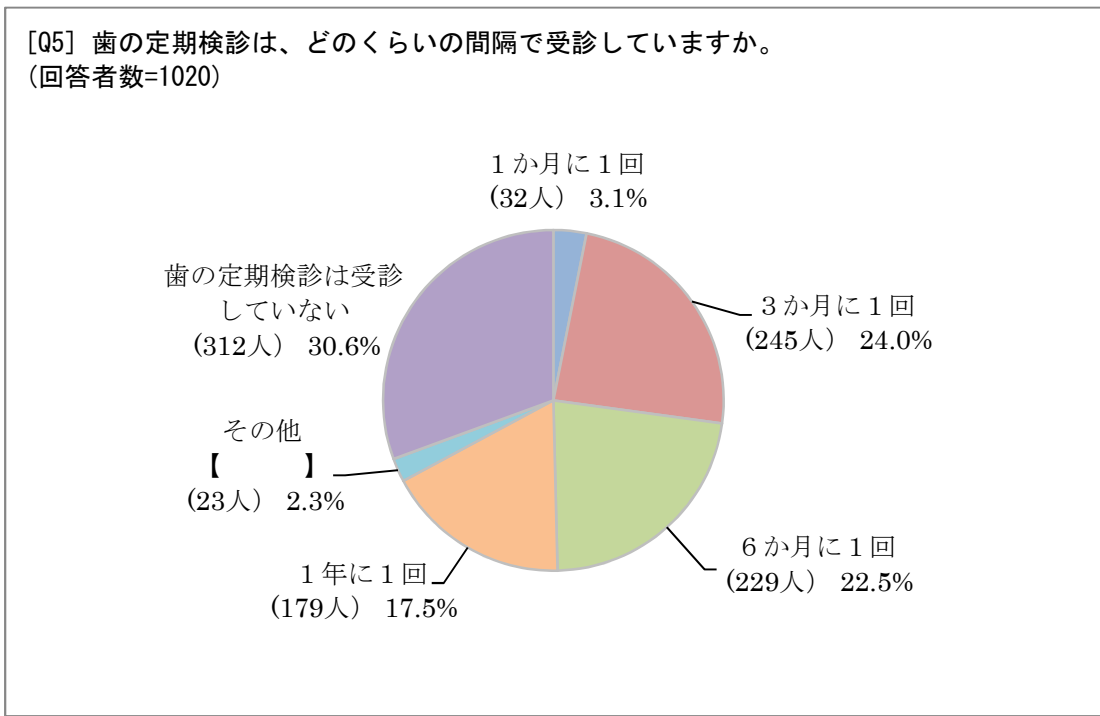


複数回答		人	%
全体		(1020)	
1	痛みや腫れなど、歯や歯肉などにトラブルがあるとき	720	70.6
2	定期検診（歯石除去やクリーニング）や予防処置（フッ化物塗布）などをするとき	591	57.9
3	歯の矯正やホワイトニング（歯の漂白）をするとき	63	6.2
4	その他【 】	18	1.8

その他【 】

- 定期的に検診している
- 年一回の人間ドックのとき
- 治療
- 歯列矯正
- インプラント治療
- 歯が欠けた時
- 親知らずの抜歯
- 義歯の修理など(3件)
- 歯科検診にひっかかったとき
- 検診では、フッ素塗布はしないが虫歯あるかどうかのチェックをお願いしています。
- ない
- 行かない
- 歯科医院に行ったことがない(2件)
- ここ25年程歯科医院に受診していない。
- 引っ越す前はかかりつけがいてメンテナンスしてもらっていたのですが、今は信頼できる歯医者がなくメンテナンスすらしていません

痛みや腫れなどの自覚症状がある時に受診する人は、70.6%と多く、定期検診等のために受診する人は51.8%です。歯と口腔の疾患は自覚症状があらわれにくいいため、定期検診につながりにくい傾向があります。今後も定期検診の重要性を伝えていく必要があります。

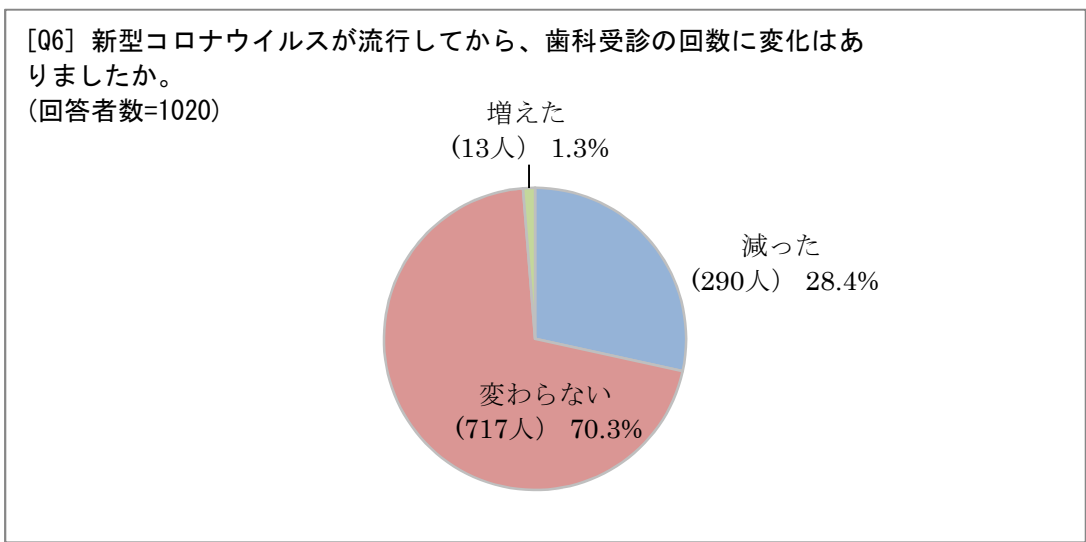


単一回答	人	%
全体	(1020)	
1 1か月に1回	32	3.1
2 3か月に1回	245	24.0
3 6か月に1回	229	22.5
4 1年に1回	179	17.5
5 その他【 】	23	2.3
6 歯の定期検診は受診していない	312	30.6

その他【 】

- 2ヶ月に1回(6件)
- 4ヶ月に1回(3件)
- ハガキが来た時、しばらく行ってないなと思ったとき、子どもがかかる時についでに。
- 2、3年に数回
- 数年に1回
- 気づいたとき
- 矯正歯科に通っているので一般歯科は受診していない
- 治療の際
- 痛い時
- 適当
- 不定期
- 1年前の引越し以来定期検診をしていなかったが、今後定期的に行く予定
- 以前は数ヶ月に一回受診していたが、歯科医院を変えて行かなくなってしまった。
- 最近行けていない
- 最近は行っていない
- ここ数年は行っていない

1年に1回以上定期検診を受けている割合 67.1%ですが、一方で 30.6%が”歯の定期検診は受診していない”と回答しました。定期検診の受診頻度、必要性の認識は個人により差があります。



単一回答	人	%
全体	(1020)	
1 減った	290	28.4
2 変わらない	717	70.3
3 増えた	13	1.3

新型コロナウイルス感染症の拡大していた時期は、歯科受診に限らず不要不急の外出自粛などが求められ、歯科受診も不安の声が聞かれていました。

新型コロナウイルス感染症流行以降、約 30%の人が歯科受診の回数が「減った」と回答しました。感染症の流行から歯科受診を控え、歯科治療が途中のまま放置されている可能性も考えられます。むし歯や歯周病は、早期発見・早期治療をすることにより、進行を防ぐことができます。歯科受診の必要性について、定期検診の重要性と合わせて伝えていく必要があります。

Q7 問6の回答理由を教えてください。

- 特に理由はない(36 件)
- 定期的に受診をしているため(38 件)
- 元々定期的に通っていないため(32 件)
- 歯にトラブル(痛みなどの症状)が起きた時など必要な時にしか受診しないから。(28 件)
- 感染予防のため(23 件)
- 感染が怖かったから(22 件)
- 感染の不安(17 件)
- 歯科医院でのコロナ対策がきちんとされていたから(14 件)
- 気にしていないから(13 件)
- 治療中だから(12 件)
- 外出を控えたため(12 件)
- 歯の問題がなかった(10 件)
- 感染対策がしっかり取られていたため。(10 件)
- 変わらない(9 件)
- 感染リスク(9 件)
- 歯科医院に行く習慣がない(9 件)
- 歯は大切だから。(8 件)
- 口腔内トラブルが発生したから(8 件)
- 受診した時に次回の予約をし、通院しているため(7 件)
- 定期的検診のお知らせが歯科医院から届くため(7 件)
- 時間がとれないため(6 件)
- 特に問題がないため(6 件)
- 飛沫感染のリスクが心配だったため(6 件)
- マスクを外す事に抵抗があったから。(6 件)
- 定期検診は大事だから(5 件)
- 必要であれば通院するから(4 件)
- 感染のリスクを避けたいため(4 件)
- 何となく(4 件)
- 予約が取りづらくなった(4 件)
- マスクを外すので感染リスクがあると思ったから(4 件)
- 病院受診を控えていた(4 件)
- 必要だから(3 件)
- 定期的に検診を受けたいため(3 件)
- 定期的に受診したいから(3 件)

- 定期検診は行かないから(3件)
- 頻度が少ないため(3件)
- 必要な時に行くのにコロナは関係ないから(3件)
- 歯医者に行きづらくなった(3件)
- かかりつけの歯医者がなくなったから(3件)
- 歯科医師と相談しながら受診した。(3件)
- 歯科医から定期検診の連絡を受けているから。(3件)
- 何となく行かなくなってしまった(3件)
- コロナは気にしなかった。(3件)
- コロナに関係なく定期検診に行っていたから(3件)
- 面倒だから(3件)
- コロナと歯科は関係ないから(3件)
- 歯の健康を保つため(2件)
- 定期的に受診する事が無かったのでコロナでも変わらなかった。(2件)
- 虫歯になりたくない(2件)
- 虫歯がないから(2件)
- 特別に心配しないため(2件)
- 特に懸念していなかった(2件)
- 特に規制などがなかったため(2件)
- 特に通う必要性がないから(2件)
- 他人との接触回数を減らしたいと思ったから(2件)
- 他人との接触を避けるようになったため(2件)
- 習慣化しているので、コロナ禍でもかわらない。(2件)
- 定期検診のお知らせが来なくなったため(2件)
- 主治医がいないため(みつからないため)。(2件)
- 歯周病が身体に影響を及ぼすため。(2件)
- 歯科医院からの勧め(2件)
- 市の成人歯科検診のみ受診している。(2件)
- 気になるから(2件)
- 気にしなかった(2件)
- 健康維持のため(2件)
- 感染が怖いので一時期行かなかったが、再開している。(2件)
- 感染が気になったため(2件)
- 何かあったらその都度受診するため(2件)
- なるべく他の人と接触しないため(2件)
- コロナの影響(2件)
- 定期的に通院している。医院が休診となったわけでもないの。
- 定期的に見てもらった方が安心だから。
- 定期的に診ていただく事が大切だから
- 定期検診の日にちを決められてしまうから
- 予約は普通に取れたので
- 予約のため、混雑状態にはならず、歯科医もできる対策はしていた。

- 以前から定期的に通っているのをそのまま続けているだけ。コロナ禍とは関係ない。
- 定期的に行くように意識している
- 定期的に診察を受け虫歯などの早期発見、治療のため
- 定期的に歯周病予防の為に歯石を除去して貰う為
- 定期的にクリーニングをして歯周病予防や虫歯の早期発見をしてもらうため
- 定期的にクリーニングすることで、歯の健康を保ちたいから。かかりつけの歯科は感染対策を徹底していて、受診に心配はなかった。
- 定期的なケアが大切だから
- 定期的に検診を行うことでコロナの感染症も予防できているから。
- 定期検診を継続した。コロナ感染対策は万全にしていた。
- 定期検診は習慣になっていて、いつも通り続けたかったのだ。
- 定期的に行っておけばいいかな、程度の意識。
- 感染の不安があったので、検診とお手入れ2回分を1回にさせていただくなどのお願いはしたが、口腔内の健康と免疫の関わりがあると聞いたこともあり、検診頻度は落とさなかった。
- 歯は大事。コロナ関係ない。
- 理由はないが入れ歯の修理や日常点検
- 定期的に通っていないのと、むし歯がないため。
- 予約が取れない
- 予約を忘れる
- 予約するのが面倒だから
- 予約しても、すぐに見てもらえないので、予定が合わない
- 予約が取れない。診察日と診察時間帯の制限ありで困ったので別の歯科医院に変更しました。
- 予防のため。
- 予定が組みにくくなった。家族が体調悪くても受診を控えないと行けなかつたりした為。
- 問題なし
- 無理に歯石検査だけなら行かない。痛み歯がグラグラした時に行きます。
- 密の場所を避けていたため
- 毎回、歯石除去後で喉が痛くなるので、今は控えている。
- 放置して悪化する方が大変だと思ったから。
- 変化する理由がないから
- 変える必要が無いから。
- 怖いから。
- 病気が流行する時は特に口腔内に気をつけていきたいと思います。
- 病院に行くのは怖かったしマスクも着けられませなし
- 病院に行くことで病気にかからないか心配になったため
- 病院だけでなく、他者と関わり、もし感染させてしまったらと思うと何もできず、家に閉じこもっていたため
- 必要最低限の受診や外出が習慣になった。
- 必要な事は必要であり、通院もその一つと考えているので、控える事はしませんでした。また病院も空気清浄機の設置や換気等で感染拡大防止に努められていたので、多少なりとも安心できました。
- 必要なら行く。コロナだから控えるとかはない。
- 必要なので気にせず行っている
- 半年に一度、健診の案内はがきが来たら受診しているので、頻度は変わらない。

- 半年に1回検診と歯石を取っている。以前は誕生日に年1回の受診であったが歯科医には3か月に1回ぐらいが良いと言われ半年に1回にしました。
- 発熱外来など簡単に受診出来ない為、罹患する可能性を少しでも下げる為
- 発熱した際、来院を控えたため。
- 年に一度の定期検診は変わらない。歯の痛みはコロナ禍であっても我慢できない。
- 年に一回は決めているから。
- 年に1回は診てもらいたいから
- 妊娠・引越し等があった為
- 入れ歯になりたくないから
- 特に不便を感じないため。
- 特に歯科が自身の健康に影響を与えないから(感染症の観点において)
- 特に歯の治療が必要になることはなく、年一回の定期検診以外でお世話にならないから。
- 特に気になることがなかったので、定期検診を遅らせた。
- 定期検診は行くのを躊躇して、行かなくなった。そもそも外出を控えていた。
- 定期検診だったが、コロナ渦だったので遠慮して延期した。
- 通っている歯科医院はコロナ対策もしっかりしていたので特に気にしていなかったから
- 通っている歯科医院は、問題なく対策をしていたので、頻度を変える必要性がなかった。
- 痛み等があったとしたら受診していたがなかった。歯のクリーニングは念の為に控えていた。
- 痛くなればコロナに関係なく、治療へ行く。
- 痛くなった時に行くので痛みには耐えられない。
- 痛くなったら通院するのでコロナ中でも嫌ではあるが、通院するしかないのです。
- 痛くても我慢してしまう
- 痛い時や気になる時はすぐ行くから
- 痛いときは関係ないから
- 直接、口を治療するのでなんとなくいかなかった。
- 朝一で行っているのと、綺麗で衛生面も問題なさそうなので安心して通える
- 虫歯を放置して悪化させたくないから。
- 虫歯は嫌なので定期的にいっている
- 虫歯が出来やすいので。
- 虫歯があっても治療回数も少なく済む、歯周病の予防として半年に1回定期的に診てもらっている。歯科医院からも検診のお知らせが届くので大体それに合わせて診てもらっています。
- 大切にしたいから
- 大丈夫なのは分かっているのですが、待合室での気まずさと言うか気になってしまうと遠退いた。
- 待合室で密にならないか心配があったのと診察でマスクを外すことに抵抗があったから
- 先生や看護師さん、それに時間予約制などで混まないし、一般的な感染予防が徹底されていたからです。
- 成田市民になっていい歯医者さんが見つからなかったから。
- 人間ドックのときに診てもらっているため
- 人の集まる所なので、できるだけ回数を少なくしています。
- 人にうつしてしまうかもと思ったから。
- 診療中口をあけばなしなのでウイルスが入りやすいのではないかと考えていたから。また、歯医者に限らず外出することや人と接触することを避けていたから。
- 診察の際、必然的に口を開けるのでコロナウイルスに感染するリスクが高くなるのではないかと考え、受診を控えるよう

になりました。

- 神経質になってしまう
- 新型コロナを特に恐れる必要のある病気とは考えていないので、生活にほとんど変化はない。(なにかを自粛するということは無かった)
- 丈夫な歯を保つことが健康に繋がっていると思うので大事にしたいから。
- 出かける自体が面倒になったので
- 受診したい時に受診をするため
- 自分自身や家族の体調が良くないときには行きづらいので、予約をキャンセルしてしまうことも多々あった。
- 自分も家族もコロナになったから。
- 自分もワクチン接種しており、かかりつけの歯科もコロナ対策をしながら開いていたので。
- 自分の体調が少しでも何か悪いところがあるとうつしたくないので行けないことがあるから。
- 自分の歯で長く食事したいから定期検診しておきたい
- 自分に症状がなければ、特に受診に影響はない
- 自宅時間が増えたから
- 自宅ケアで口腔トラブルを防いでいる
- 自身がコロナに罹患した事もあり、定期的に通っていた通院が滞っている。
- 治療中の診察室は、とても狭い空間、治療中はマスクしていないし、医者は手袋していても毎回交換するわけではないので、他の患者の口の中に接触してから自分のところに来るときには、手にはウイルスがついているとってしまいます。そのために感染症が蔓延されている時期は、医者にはいかにないようにしていました。特に歯医者の場合は、不安が大きいです。
- 治療を優先したかったから。
- 治療や定期的な手入れは必要だから。歯科医院のコロナ対策が、徹底していて安心できたから。
- 治療が必要な場合は、コロナの感染状況に関わらず通院していたため。
- 治療がある為、今は定期的に通うようになったが、少し前までは、コロナに感染したくないので、マスクを外す歯医者に行くのが嫌でした。
- 時期が来たら行く
- 歯石取りや歯周病チェックなどは個室で歯科衛生士が行うため口を開けるのに抵抗が少ないから
- 歯石をクリーニングで定期的に行っている。
- 歯石や着色が気になってはいたが、マスクをしていたから。
- 歯石がつくのが嫌だから
- 歯周病予防に効果があるので
- 歯周病などの病気は糖尿病やあらゆる生活習慣病の原因となるので歯の健康には気を使っている。コロナの感染状況をよく見ながら歯科の定期検診は欠かさず行くようにしている。そのためにも「感染状況の情報」は必要！！
- 歯周病で歯を失いたくないので毎月一回通院しています。なので、コロナ禍であっても続けて通院しました。
- 歯科検診でコロナにかかるリスクがないと考えているのと、最低年2回は行かないと歯の健康を保てないと思うからです。
- 歯科技工をやっていますので、自分のことはだいたいわかるので。
- 歯科医院側で、特段制限を設けていない。
- 歯科医院の感染対策がしっかりなされていたので、安心して受診していた。定期検診を続けていても虫歯になることはあるので、検診をしない選択肢がなかった。検診と同じタイミングでクリーニングも行っているため、定期的に通院したかった。
- 歯科医院のコロナ対策を信用していたから
- 歯科医院でもコロナ対策がされていた。コロナ渦であっても無くても、口腔ケアは大切なので、通う頻度には影響しなかった

- 歯科医院でクラスターがおきていなかった。普段からもそうだが、更に徹底して衛生管理されていたから。
- 歯科医院だからといって必ずしも感染リスクが上がるわけではないため
- 歯科医の方で気をつけてくれていると思うし虫歯になりたくないの。
- 歯科医の方で、必要最低限の治療での診療をお願いされていたため
- 歯科医でコロナに対する不安はないため
- 歯科医で、コロナ対応を適切に行っており、また、コロナの予防接種を毎回行っているの、問題ないと思っている。
- 歯科医がコロナ対策をしっかりとっていた。歯のケアの方が重要だから。
- 歯科は対策をしていると思ったから。自分はワクチンを接種していたから。
- 歯科は歯医者さんと顔の距離が近く、また口の中を触るため感染リスクが高いイメージがあったため。
- 歯科はマスクを外すので、初期には抵抗があり控えたが、ワクチンの拡大で受診を再開した。
- 歯科の衛生管理がしっかりとされていたので、定期検診に問題はなかった。
- 歯科でもしっかりとした感染対策をしていると思うし、自身の体調の良いときに受診していた。
- 歯科では感染対策もされており、受診の制限もないので、安心して利用できるため。
- 歯医者予約時に家族がコロナに罹患し受診延期。その後も感染者拡大したため、受診を控えていた。
- 歯医者は多く、患者をなくせない。よって、回数を多くしているように感じる。毎月歯垢を取りに行ったほうが良い。
- 歯医者に通ったせいで、コロナウイルスに感染するとは思わないから
- 歯医者に行っていない。痛くなったりトラブルがあれば行く。
- 歯医者で感染との情報がなかったから
- 歯医者では口を開けるので感染リスクは高いかもしれませんが、必要に迫られていたので
- 歯医者でコロナに感染する可能性は少ないと思います。感染対策しているので
- 歯医者さんは、狭い病院が多く、待合室などでの感染が怖かった。治療器具からの感染も不安だった。
- 歯医者さんに安心安全と説明されたから。
- 歯医者きらい
- 歯医者で、コロナに影響されず、開院していたため
- 歯を大切にするため
- 歯は大事なので定期的に行きたいと思うから
- 歯は大事だし、歯科医院も対策しているのでコロナウイルスは気にならなかった
- 歯は何となく取り返しが聞かない気がして定期的に行くことにしている。
- 歯の定期検診は継続が大事と考えているため、毎年実施している。歯や口腔内の健康状態を検診してもらい、状況によっては歯石の除去をしてもらっている。
- 歯の痛みと歯科検診
- 歯の状態を定期的に検診することを止めたくなく、またかかりつけの医院がコロナ対策をとってくれていたの、安心して受診できたから。
- 歯の健康は大事だからコロナは関係ない
- 歯の健康は体にも影響していると思うから。
- 歯のトラブル発生時期とコロナ禍がたまたま重なった。
- 歯のためにどうしても行きたかったし、歯医者さん側も予防は徹底していると思ったから。
- 歯に問題が生じる前に対処したいから
- 歯に気になるようなところが現れたら行くという感じのため。外的要因に影響されることがないため。
- 歯にトラブルあり、受診したから。また、きちんとコロナ対策しているだろうと信頼しているの。
- 歯と口腔のケアが新型コロナウイルスと関係が深いのでしょうか？
- 歯が痛くなることは少なく定期検診に行くのみだから

- 歯が痛いのに、診療に行かないという判断はできない。
- 歯が痛いときは、コロナのことより歯を治療することのほうが優先するから。
- 市販の薬で済ませた。
- 高齢になり、口腔機能の低下は認知症になる可能性が高いと知ったから。
- 行く必要があるため
- 行くのにためらいがあった為
- 行かなくなって、行きづらくなってしまった
- 控える必要がないから
- 口内の検診ということもあり、感染リスクが高いと考え受診を控えた為
- 口腔内を清潔に保ちたいから
- 口腔内を健康にたもつことで、健康維持
- 口腔内の環境は、口腔内以外の健康にも影響があるので、歯科矯正の保険が効く範囲を広げてほしい。補助金など出して欲しい。
- 口腔内の衛生環境もコロナ対策の一環として行うように考えました。特に口腔内は自分ではなかなかケアできない虫歯、歯周病があるので長引かないうちに初期に直したいと思いました。加えてマスクにより口腔内衛生を保つことも加味しました。
- 口腔内のケアをすることで、状態の把握と疾患の予防をしておきたいので
- 口腔衛生は全身の健康に影響するので、定期的なチェックと予防歯科が重要と考えるから。
- 口腔ケアは全身の健康へつながるから
- 口を開けるのが怖いから
- 口を開けるし、衛生士さんとの距離も近く感染が心配になったため。
- 互いに気をつけているから
- 元々行く頻度も少なく、かかりつけの歯科医院は衛生面もかなり気を配ってくれているので、コロナでも不安はなかった
- 検診は半年に一回と決めているから
- 検診は、インフルエンザやコロナの流行と関係なくうける。
- 健康と歯科の関連性が深いと学んだので
- 緊急事態宣言の最中に予約が入っていたが、歯科医院より休診の連絡があり、その後予約をとらなかったのでしばらく行かない期間があった。
- 気管支が弱く咳き込んだら帰されたので恐怖心がでた
- 気が向いた時にしか行かないため
- 基本的器具は除菌されているし医師たちもマスクされているから感染率低いと思いましたから
- 器具の消毒や感染症対策に不安があったため
- 環境がかわったから
- 感染対策をしていると思うので。
- 感染対策をきちんとしていると感じていることと、先生のほうがリスクがあるにも関わらず診療してくださっているから
- 感染対策が面倒だった
- 感染対策が行われていそうだったのと歯石除去やクリーニングする事で肺炎予防にもなると聞き今まで通り通院した。
- 感染対策が厳しいから
- 感染対策がなされていることの確認。腫れて行かざるを得なかった。
- 感染症対策のなされているクリニックなので、安心していつも通りに受診。
- 感染症の流行には左右されない内容故
- 感染症の流行があっても定期健診は必要だと思うから

- 感染症に罹ることは、コロナウイルスとは限らずどんなものでも罹る時があるから
- 感染リスクを鑑み、必要最低限の受診としていました。
- 感染リスクをお互いに減らすために行かない方がいいと思った
- 感染のおそれを警戒し、回数を減らした。
- 感染しやすい気がしたので避けていました。もちろん痛みなど不具合があれば行きます。
- 感染していたり、したりしたら嫌なので減らしました
- 感染が心配だったのでコロナ禍が終わってから行こうと思ったため。
- 外出を控えたのと、口をあけることに抵抗感があつたら
- 外出しづらかった。
- 外出が減ったため、感染リスクを減らすため
- 家族、とくに子どもについては必要性を感じ定期的にと心がけているから。
- 家を転々としているため
- 家の近くだから
- 衛生面を疑う訳では無いが、普段マスク生活の中で大きく口を開け続けることへ少なからず恐怖心がある
- 院内で口内消毒の徹底があつたので
- 引っ越して変わったのでコロナは関係ないから。
- 一定の対策がされていれば、罹患しても仕方ないことと思っているから。
- 医者を信頼しているから。
- 医院内で感染対策に万全である
- 以前は歯石除去で定期的に通院していたが、コロナ前に通わなくなっていた。
- 安心して受診できる。
- ワクチン接種しているから、問題ない
- わからない
- リスクを極端に増やすものではないと考えたため。
- よほど痛かったり困らなければいなくなった
- やはり、口の中を診察されるのは抵抗があつたから。
- もともと頻繁に行っていたわけではないので
- もともと定期健診は行っておらず、歯痛があつたときはコロナにかかわらず受診した。
- もともと歯医者さんに行きづらいから。
- もともと歯医者嫌い
- もともと検診をしていない。近場の歯科医は営利主義で何度も何度も通わせる。歯医者事態に不信感がある。
- もともと育児と仕事が忙しく定期的に歯科を受診する時間がない。
- もともと歯が弱く、このままでいきますと総入れ歯が待っているの
- マスク等予防措置をとっているため
- マスク生活中に治したいところがあつたから
- マスク生活になって口元をケアする優先度が下がったから
- マスク生活で歯を気にしていない
- マスク生活していて、歯を食いしばるようになってしまい相談した。そしたら、虫歯や歯茎の腫れ、歯みがき指導など口腔内をもっと気にしないとイケないと思ったから。
- マスクを外すことに抵抗があつたし、多数の患者の口腔内を診察する医師と接触するのが怖かった
- マスクを外した対面が恐ろしい気持ちがありました。又、ここまで長引くとは思ってもいなかったものでコロナが終決したら行こうと思っていました

- マスクをしないう所を避けていたため
- マスクをしていると口呼吸をしているようで、何時もより口の中が汚れているように感じた。コロナ感染も怖いけど、検診は大事だと思ったから。
- マスクをしていて、歯が目につく機会が減ったから。
- マスクできない
- ひかえるようになった
- パンデミックの当初は、歯科医も患者も、感染防止対策への認識に濃淡があり、定期健診時の感染が不安だった為、受診を控えた。1年ほど経って、歯科医が安心できる対応をしている事が確認できたので、以前の受診サイクルに戻した。
- そもそも、食後の歯みがきを心がけるようになった。
- しっかり衛生管理を行っているので安心して診察を受けている。
- コロナ中も歯に関するトラブルはなかったため。
- コロナ前から現在まで歯医者に1回しかかかっていないため。
- コロナ初期は、歯科治療が感染源になるかもしれないという疑いがあったため
- コロナ時期は急ぎの対応でないと受診が出来なかったから
- コロナ感染予防と同じに、歯も大切と思うからです。
- コロナ禍の時は、やはり口内の治療という事でうつらないかと心配だったので。
- コロナ禍の際には、急ぎじゃなければ通院を控えるような感じだった為、特に症状がないのに時間を作って行くのがおっくうになってしまった
- コロナ禍と妊娠出産が重なり行きづらくなった為
- コロナ禍とはいっても、矯正しているので定期的にクリーニングに行かないと、口腔内の環境が悪くなるので
- コロナ禍で自分の事よりも子どもの体調を優先していたから。
- コロナ禍で歯科の予約が取りにくかったのと感染に対して行くのを躊躇った
- コロナ禍でも口腔内の健康はとても大切なので、必要な時には歯医者に行っています。
- コロナ禍でも、通常通り受け入れてもらったので。
- コロナ禍でも、歯科は対策しているので、気にせず通院できます
- コロナ禍でも、歯の維持、ケアは大切。すべての健康のもとになるから。それに長生きしたい。
- コロナ禍で、自ら受診を控えたというよりは、子供の学校が急遽休みになったり、自身が濃厚接触者になり予約をキャンセルしたり、ということがあり、次の予約がなかなかとれなくなった。
- コロナ禍だからと言って、必要な時は今まで通り掛かり付け医に行きます。
- コロナ禍、通院して良いか迷ったけど、歯痛で我慢できなく通院したら、遠慮せず来てくださいと言われたので。
- コロナ以降、一度も行っていない。
- コロナは飛沫とか唾液で感染するから歯医者には沢山の人の治療しているから受診はよっぽどの事がない限り行かなくなった。
- コロナは関係なく、必要があれば受診していた。
- コロナの予防の方は、必要性が高いと思ったから
- コロナの終息がいつになるかわからないので、普段と変わらず検診をうけた
- コロナの時期は歯科によらず、医院というところはいかないようにしていた。行くと面倒な気がしたので。
- コロナの感染対策は信用できないので可能な限り影響は受けず、特別行動に変化はない。
- コロナの可能性より、検診をしないと歯のトラブルがおこる可能性が高いから
- コロナについては歯科医がしっかり予防措置をとっていると信じている。その為歯科医での治療頻度等はコロナの影響は全くない。
- コロナにかかって歯みがきが出来ない日があり虫歯が出来たので通院した。以降、歯石除去を受けるようになった。だが、

まだ歯石除去は一度しか行っていないので、増えもせず減りもせず変わらないわけでもなく、どちらともいえない。

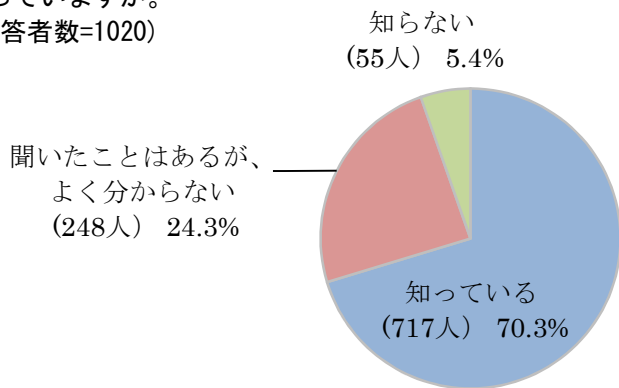
- コロナと歯科検診何の関係がありますか？
- コロナと口腔環境を整えることは関連があると思った。歯科医院では、治療の前にうがい薬で十分にうがいをしていたので、安心だった。
- コロナとは関係なく定期健診を受けるため
- コロナで病院に行くのが、また口を開けるのが怖かったから。コロナで外出や、美容、健康に対する関心が低下した。
- コロナで生活が変わる事がないから
- コロナでも、歯が大事なのは変わらないので、何も気にせず受診しています。
- コロナだろうが必要であれば受診するから
- コロナだから。公津の杜駅前でタバコを吸いまくって路上に捨てている高齢の男性がいて、取り締りもしてない観光都市だから。外出したくないかも。外食も駅前でたばこ臭くてまずくなるね。と言われた。残念。
- コロナが流行り始めた頃、検診を予約しようとしたら、急ぎの治療でなければ、受診を控えるように言われた。なので、一年以上あいてしまった。
- コロナが流行っていた初期は控えていたが、今は変わらない
- コロナが流行った最初の1年間は、検診はしませんでした。翌年頃から以前のペースに戻りました。
- コロナが流行してからは、直接触れるので、歯科医院に行くのにかなり抵抗があったので行っていなかった。5類に移行したので、これから通おうと思う。
- コロナが気になって行きたくなかったけれど歯の病気は自分では治せなく通院に踏み切った。
- コロナが何かに影響はしてないから。
- コロナうんぬんに関わらず、口腔内のケアは大切だと思うので。
- コロナウイルスがまん延してもしなくても、歯は一生ものなので、定期的に検診を受けたいと思っている為。
- きっかけがない
- きちんと対策が取られていたので、頻度を変える必要はないと考えたため
- かわらなかったから
- かかりつけ歯科医院では、新型コロナに対する感染対策が十分に行われている。また、口腔衛生は新型コロナ感染予防にも大事だと考えているため
- お世話になっている歯科医院での感染対策は、しっかりなされていると思うので。
- ウイルス対策に気をつけており、ワクチンも接種しているので、換気の十分な、空いている歯科医に予約して通院するの
- いい歯医者を探している。口コミが無いのが多く探すのが大変
- あらかじめ予約していたため、キャンセルしなかった。対策をきちんとしてくださっているから。
- あまり関係ないと思っている
- 医者がかかってない、予防注射等やっており安全かな

問6の結果のとおり、約70%の人は、受診回数に変化がなかったため、「特に理由はない」、「定期的に受診をしているため」、「元々定期的に通っていないため」、「歯にトラブル(痛みなどの症状)が起きた時など必要な時にしか受診しないから。」などが多く聞かれました。

一方で、新型コロナウイルスの感染の不安や影響も多く聞かれており、受診控えに感染症の影響があったことがわかります。歯科医院での感染予防対策や歯と口腔の大切さについては、市民の皆さまにお伝えできるよう歯科医師会等と連携してまいりたいと考えます。

[Q8] 歯と口腔の健康が全身の健康・生活習慣病に関係することを
知っていますか。

(回答者数=1020)



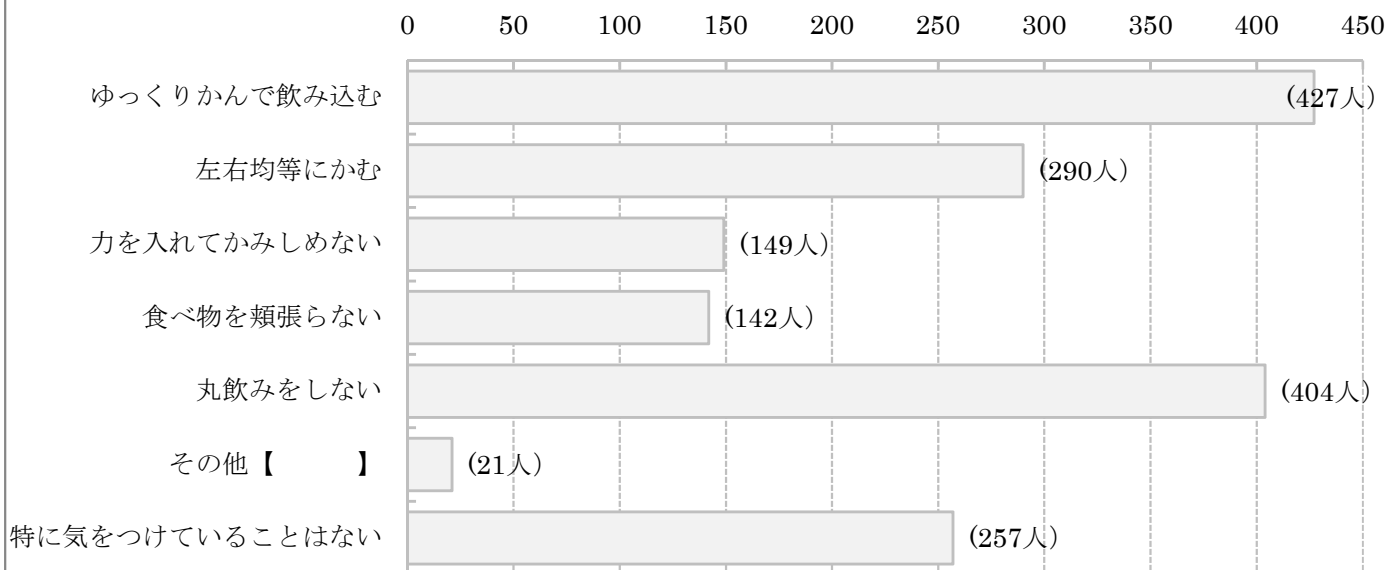
単一回答	人	%
全体	(1020)	
1 知っている	717	70.3
2 聞いたことはあるが、よく分からない	248	24.3
3 知らない	55	5.4

歯と口腔の健康と全身の健康・生活習慣病との関連について、70.3%の人が「知っている」と回答しました。令和元年に実施したアンケートと比較すると、関連を知る割合が61.6%と、約10%増加しました。

歯と口腔の健康は、生活習慣病の予防に資するなど、全身の健康に関係しています。また、新型コロナウイルス流行以降はむし歯や歯周病、口臭など様々なお口のトラブルが増加しています。マスクの着用による息苦しさから、口呼吸をすることが増えると、口の中が乾燥し、歯周病菌等が増殖します。また、人との会話が減り、口の周りの筋肉量が低下することでも、唾液が減少し、口腔機能の低下にも繋がります。さらに、口腔機能が低下すると、誤嚥をしやすくなり肺炎のリスクが高まるなど、口の中だけでなく、体全体の健康に影響することが分かっています。

[Q9] 食べる時に気をつけていることはありますか。

(回答者数=1020)



複数回答		人	%
	全体	(1020)	
1	ゆっくりかんで飲み込む	427	41.9
2	左右均等にかむ	290	28.4
3	力を入れてかみしめない	149	14.6
4	食べ物を頬張らない	142	13.9
5	丸飲みをしない	404	39.6
6	その他【 】	21	2.1
7	特に気をつけていることはない	257	25.2

その他【 】

- よく噛む(3件)
- 誤嚥に気を付ける(2件)
- 固いものはあまり食べない。(2件)
- 食後、口内をキレイにするよう心掛ける
- 歯をみがく
- 顎関節症なので、そちら側で固いものを噛まない
- 細かく咬んでから飲み込む
- 一度に口に入れる食物の量を、高齢者になってから減らしています。
- なるべく固いものを食べるようにしている。
- 熱いものや冷たいものを少しずつ食べるように気をつけている
- 野菜から食べる
- お茶や水で口の中をすすぎながら？食べる
- 医者に聞いたこと。多数あり。
- 1日3食30回噛むようにすべきと思うが朝食のトーストのみで他の食事は実行できない。
- 気をつけなければいけないとはわかってるけどなかなかできていない
- 子育てに追われ、全然気をつけられていない
- 上記が良いことはわかっているが、時間がなく、取り組めていない。特に2については偏っている現状なので正したいとは思っているが。

「ゆっくり噛んで飲み込むようにしている」41.9%、「丸飲みをしないようにしている」39.6%、と、早食いをしないように気を付けている回答が上位にみられました。年齢を重ねるとともに、歯の喪失が進み、食べて飲み込む機能が低下します。左右均等に咀嚼することや、飲み込みなど、日ごろの食事時に気を付けることは非常に大切です。

自分の歯で、食事をとることは生きがいにも繋がり、健康寿命の延伸にも寄与します。

厚生労働省は、食事の際に1口30回以上噛むことを目標とする「噛ミング30(かみんぐさんまる)」運動を提唱しています。小児から高齢者まで、健康を維持するためによく噛んで食べることを今後も啓発してまいります。

[Q10] もし大きな災害が起こった時、特に歯や口腔のことで困ると思われることは何ですか。

(回答者数=1020)



複数回答	人	%
全体	(1020)	
1 歯ブラシなどの歯科衛生用品が手に入らないこと	709	69.5
2 うがいをする水の確保	720	70.6
3 口臭が気になること	361	35.4
4 入れ歯を失くしてしまうこと	23	2.3
5 歯科治療が受けられないこと	229	22.5
6 食べにくい食品 (かみにくい・飲み込みにくい) の提供	53	5.2
7 その他【 】	9	0.9
8 特にない	44	4.3

その他【 】

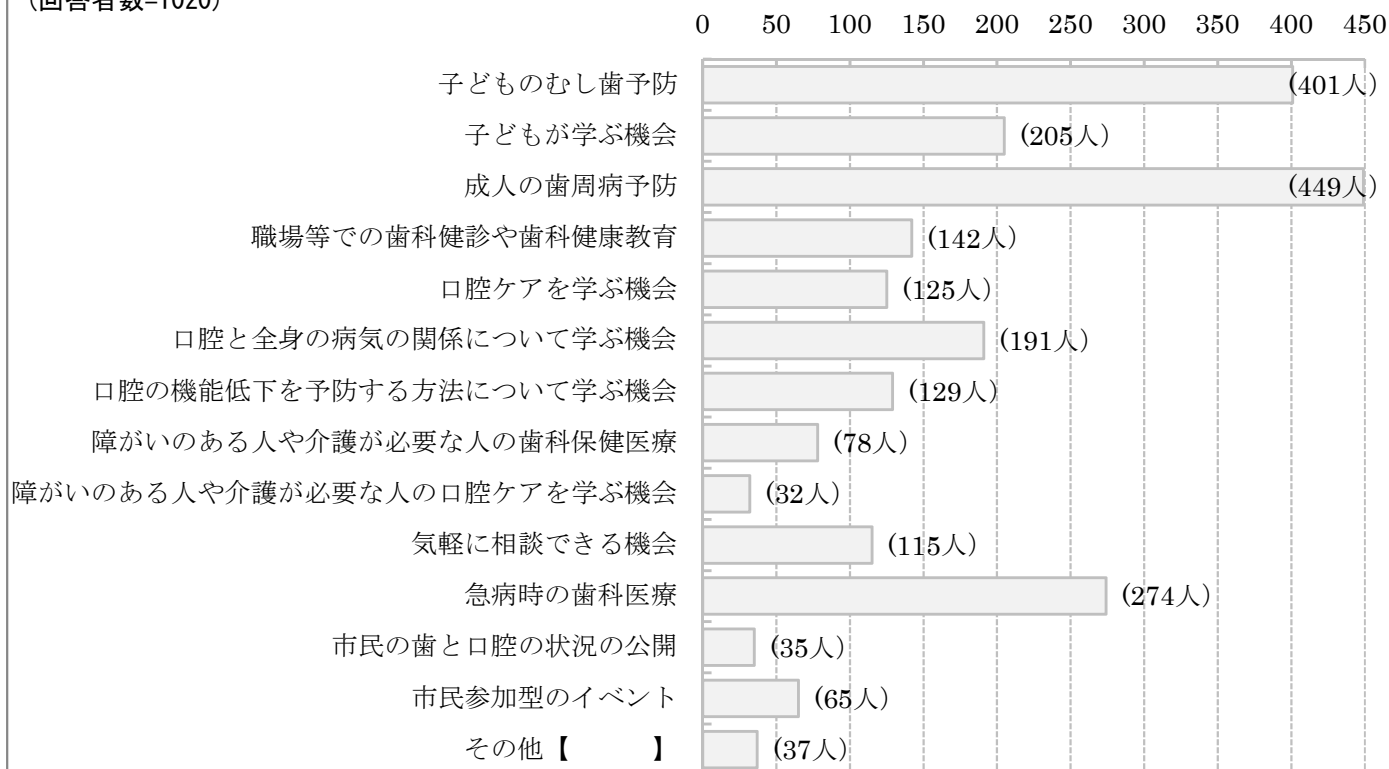
- 歯みがきの機会
- 電動歯ブラシが使えるか
- 虫歯の痛みや歯肉炎による痛みが発生しないか心配です。
- 虫歯になるなどの心配
- 肺炎など口腔不衛生からくる疾患
- いつも使用している、歯間ブラシ等が手に入らない。
- 長い間、愛用している歯みがき粉じゃないと、歯頸に悪いので、痛み出します。
- 特に考えなかった。歯みがきは塩でも出来る。食べたらうがいはする。虫歯や詰物が外れたりした場合はどうするか？
- 災害の時には、歯の事が考えられない。

「うがいをする水の確保」70.6%、「歯ブラシなどの歯科衛生用品が手に入らない」69.5%と、衛生面での不安が多くあげられました。しかし、「食べにくい食品 (かみにくい・飲み込みにくい) の提供」、「入れ歯を失くしてしまう」等、機能面での問題点に対する認識は低いと感じられます。

日本では、地震や自然災害が頻出しており、いつ被災者になるかわかりません。避難所生活では、偏った食生活やストレス、水不足などによりむし歯や歯周病、口臭など歯科的な問題が起こることが考えられます。非常用持ち出し袋の中に、歯ブラシやコップのほかにも、自分のお口に合った食形態の備蓄をしておくことも大切になります。

[Q11] 生涯にわたる歯と口腔の健康に関して、市で取り組んで欲しいことは何ですか。

(回答者数=1020)



複数回答	人	%
全体	(1020)	
1 子どものむし歯予防	401	39.3
2 子どもが学ぶ機会	205	20.1
3 成人の歯周病予防	449	44.0
4 職場等での歯科健診や歯科健康教育	142	13.9
5 口腔ケアを学ぶ機会	125	12.3
6 口腔と全身の病気の関係について学ぶ機会	191	18.7
7 口腔の機能低下を予防する方法について学ぶ機会	129	12.6
8 障がいのある人や介護が必要な人の歯科保健医療	78	7.6
9 障がいのある人や介護が必要な人の口腔ケアを学ぶ機会	32	3.1
10 気軽に相談できる機会	115	11.3
11 急病時の歯科医療	274	26.9
12 市民の歯と口腔の状況の公開	35	3.4
13 市民参加型のイベント	65	6.4
14 その他【 】	37	3.6

その他【 】

- 特になし(6件)
- 定期検診の補助、割引などの支援(5件)
- 治療費の補助(3件)
- 歯科矯正に対する補助金(2件)
- 歯科助成金
- 前歯の治療に対する補助
- 介護施設など、訪問診察のための医療費補助
- 健康診断での歯科検診無償化
- 定期検診受診を促すためのクーポン配布
- 年一回でいいので、口内ケア(歯石クリーニングなど)を受けられる無料券などあったらいいなと思いました

- 口腔ケアの助成。検査、ホワイトニング等
- 健康診断の際に歯科検診も受けられるようになっているので市としては十分だと思います
- 小さい頃からの歯周病防止に関する教育の必要性
- 歯と口腔の健康づくりが如何に健康に関わってくるかの知識が広まってないと感じます。大事なことは広く周知していくべきだと考えます。
- 正しい情報を伝えて欲しい。
- 正しい歯みがきの啓蒙
- 親になる世代が学べる機会の提供
- 障害がある方への往診診療
- 高齢者、障害者の為の「訪問歯科」を行う歯科医院を増やす。また高齢者(介護認定を受けた人)にも訪問歯科の選択肢があることを、高齢者に積極的に知らせる。
- 信用できる歯科医が開業できるように仕向ける施策
- 市内にある歯医者の特徴を知りたい
- 腕のよい歯科医の紹介、歯科技工士とセットで
- 市というより…歯科医が先輩歯科医に気を遣って治療を拒むような成田市のこれはある意味文化？が元医療従事者として空いた口が塞がらず嫌悪感を覚えます
- 口腔外科標榜医院(下顎の親知らずが抜ける医院)を分かりやすくしてほしい
- 感染症等と異なり、歯の疾患は他人に迷惑を掛けないので健康管理は各人の課題。市が税金を使ってやるべき事はないと思う

「成人の歯周病予防」44.0%、「子どものむし歯予防」39.3%と医療対策を望む意見が多いことがわかりました。また、「急病時の歯科医療」が 26.9%と、休日等の歯科治療への不安があることもわかりました。

市では、19歳以上を対象とした成人歯科検診や、フッ化物むし歯予防事業、在宅訪問歯科診療事業を実施していますが、今回の結果からも市の既存の歯科保健事業が、十分に周知されておらず、提供が行えていないと考えます。

今回の結果を参考に、成人歯科検診や歯科健康教育等の内容や周知方法も検討してまいりたいと思います。

Q12 その他、歯と口腔の健康づくりに関するご自身の取組や、ご意見等をご記入ください。

- 老人になり、歯の大切さがわかりました。若い時から、気をつけておけばよかったと、思います。
- 良い歯科医が分かるような情報公開をして欲しい。
- 良い歯医者さんが判別しにくい。客観的なランキングがあると良い。
- 予約から診療までの期間が長い。8020の現状や予防対応の情報が少ない。
- 予防歯科がたくさんあると良い。予防歯科を周知してほしい。
- 夕食後すぐ歯磨きをして、何も食べない。
- 無料で受けられる歯科講習のイベントが有ると嬉しいです。
- 毎日同じことを繰り返し行い、うがい、歯磨きを忘れない。
- 毎日歯磨きをすること。
- 毎日歯磨きする
- 毎日の自分で出来るケア(フロスや歯間ブラシ)は必ず行い、フッ素の入っている歯磨き粉を使用して出来るだけ虫歯にならないようにする。
- 毎日の歯磨きに力を入れて、毎月歯科受診してチェックをしてもらってケアしています。8020目指しています。
- 毎日の歯みがきが大切なので歯みがき粉や歯ブラシにもこだわる

- 毎日のブラッシングとかかりつけ歯科医での定期検診の受診を心掛けています。
- 毎日、就寝前に歯ブラシしています、虫歯に気を付けています。
- 毎日、口腔体操実施。
- 毎食後歯磨き+就寝前に口腔内消毒くらいです。
- 毎食後の歯磨きと起床直後のうがい薬によるうがい
- 毎食後、歯磨きを行っている。その際に歯茎も刺激するようなブラッシングを心がけている。
- 毎食後、歯磨きをすること。
- 本当は頻繁に歯科医院行きたいのだが、治療費が高額なのと終わるまでに時間がかかるので躊躇してしまう。そのためつい後回しにしてしまう。歯科医によって違うのかもしれないが、次の予約がとれなさすぎる。ほかの歯科医院も試してみたいが、そのたびにレントゲンを撮られて高額になってしまう。いい歯科医院を探す方法が知りたい。
- 忙しさにかまけて、手遅れになってしまいました。保育園や学校での子供の指導の機会を増やして欲しい。
- 母親学級で、妊婦の時から子どもの歯に影響があること、子どもの口腔ケアや食事に対する注意を学び、3歳まで甘いもの(ジュース、飴など)を与えず現在も息子は虫歯がありません。是非、若い世代が学べる機会を増やして頂きたいです。
- 勉強会などあれば参加したい
- 普段行っている歯科医院が、市の健診をやっていません。歯科医師会が受託しているのでしょうか。すべての歯科医院で健診を受けられるような方策を考えていただけますでしょうか。
- 普段あまり気にしていなかったので気をつけようと再認識しました。
- 夫の歯が痛くなったとき予約が全くとれなくて困ったことがあります。歯の急病診療をよろしくお願い致します。
- 病院の定期検診とマウスウォッシュ併用による歯周病対策
- 病院によって対応は全然違います。感じが悪い医者さんも残念ながら何人もいます。医者知識やパフォーマンスもしっかりとチェックすべきだと思います。一回このような医者さんと関わると通いたくなくなるためです。
- 必要な情報を自分で手に入れて取り組んでいる
- 必ず食後に歯を磨くこと
- 漠然とした情報はあがるが、確信してできる方法を知らない。故に、歯と口腔の健康づくりの確かな情報が欲しい。
- 念入りな歯磨きと定期検診
- 年齢に合わせた学習と検診の機会が定期的であれば良い。
- 年2回の定期歯科検診の補助をして欲しいです。
- 認知機能との関わりに関する講習会を行って欲しい。
- 日曜日に診察出来る所を増やしてほしい
- 日本では歯医者は歯が痛くなったら行くところのイメージだが、ヨーロッパなどでは予防歯科が浸透していてそれが歯の健康の差に顕著に出ていると聞いた。そのことを周知していく必要があると思う。我が家では、親子で歯ブラシだけでなくフロスの併用、キシリトールの摂取、3ヶ月に1度の定期メンテなどを行っている。
- 特に取り組んでいない。このままで良いとは思っているが、なかなか行動に移せない。
- 電動歯ブラシを使用しています。
- 電動歯ブラシや歯間ブラシを利用する事
- 電動歯ブラシにして歯磨きの質を向上。年に少なくとも2回は検診とクリーニングに行くことにしている。少なくとも年に一回の検診は、市民は無料にするなどして、行くことを習慣にするようにすればいいと思う。そこで何か見つかれば、患者も歯科医も両方にメリットがある。悪くなっていから行くより、予防ができれば医療費も圧縮できると思う。
- 電動ブラシの他に歯間ブラシや糸ようじを使い定期的に検診にも行き、歯の健康に気を付けている。
- 電動ブラシで磨いていますが、とっても良く磨けます。もっと早く買えば良かったと思いました。
- 適切な歯みがきが出来よう心掛けています。ex.歯茎を傷つけないよう柔らかめの歯ブラシを使って、力を入れないよう磨くなど

- 定期的に診ていただくことにより、自分の歯の健康度を把握すること。また、早め早めに治療を受けることで、健康な歯を数多く残すことができると考えている。
- 定期的に歯磨きをすることと、たまにマウスウォッシュをすること。
- 定期的に歯科を受診している
- 定期的に歯科に行って歯の定期検診を受ける
- 定期的に歯医者に行く。もし、将来歯に影響が出て入れ歯などをつくることになったら惜しまずお金を掛けようと思う。
- 定期的に歯医者に行く。
- 定期的に歯を見て貰う
- 定期的に検診に行くこと。何でも気になることは歯科医に聞く。
- 定期的に検診に行く。行った時には次回の予約を入れておく。
- 定期的に検診に行きたいが、電話予約がつい面倒になりなかなか行けてないが、歯は大事なのでちゃんとしなきゃいけないと思う。
- 定期的にPMTCに通っていて、都度異常を発見しては治療している(早期発見、早期治療を心掛けている)。歯ブラシだけでなく、フロスも用いて歯垢を落としている。
- 定期的な口腔ケアは大切な事と思い毎日のブラッシングは忘れずに実施しています。
- 定期的な検診の実施
- 定期的な検診と、日々の歯磨きを忘れない。歯磨き粉は歯医者さん推奨のものを使う。
- 定期的な検診が必要と感じた。特に年齢を重ねると考えるようになった。
- 定期受診。
- 定期検診受診
- 定期検診を忘れずに受診し、予防していきたい
- 定期検診を電話予約しても直近だと全く予約が取れないです。先々の予定までわからないので先の予約は取れないし仕事と子育てでどんどん定期検診の頻度が減りそうです。日曜日を受診出来たら良いのと思います。
- 定期検診を受けている。災害時に困らないように歯ブラシとマウスウォッシュを多めに用意している
- 定期検診をしっかりと受ける。こまめに磨き、口腔内を清潔に保つ。
- 定期検診や歯のクリーニングなどを一回 200 円ぐらいで受けられるようになると嬉しいです。
- 定期検診や口腔内ケアを学校等で教育して欲しい。
- 定期検診は忙しくても必ず受けるようにしています。
- 定期検診はとても大事だと思います。
- 定期検診はきちんと受ける。異常が発生したら、すかさず診察を受ける。
- 定期検診に行くとポイントがもらえるなど、何かしらのメリットがあると気軽に行ける
- 定期検診に行くこと
- 定期検診に行き、歯間ブラシや糸ようじ等の予防に取り組んでいます
- 定期検診と日々の歯ブラシを頑張っています。子どもを連れて行ける歯科医が少なくて困っています。
- 定期検診と歯磨き。歯ブラシの早めの交換を心掛けている。
- 定期検診で歯石除去、虫歯チェックは受けたほうがよい。何かあった時に早い段階で治療ができる。症状があれば早く治療したほうが、時間もお金もかからない。
- 定期検診だけを受けられる機会を増やして欲しい
- 定期検診、クリーニングを受け、早めの治療を心掛ける。磨き方等のアドバイスも参考になる。食事は、気付くと早食いになりがちなので、ゆっくりよく噛む意識をしたい。
- 定期健診に行くと、いろいろひっかかり(いじらなくて良いところまで指摘)治療にかなり日数を要し、また保険治療ではまかなえず(医師に勧められる)費用がかなりかかるため、受けるのを遠慮してしまう。

- 定期健診、歯科医による歯の掃除を怠らず、8020 を目指したい。
- 定期健康診断での歯科点検の判定を細分化してほしい。虫歯に加え、歯周病等の注意喚起の段階や予防法、食生活等予防の観点でのセルフケアにつながるような結果を出すよう整備してもらいたい
- 痛みや症状がなければ、できるだけ歯科にはいきたくないですが、それではいけないことは知っていても実行できないのが現実です。
- 痛みが出たら、すぐに歯医者に行くようにしています。歯周病対策の歯磨き粉を使用しています。ブラッシング方法などを学ぶ機会があったら嬉しいです。
- 痛く無い治療や予約の取りやすさなどで、歯科の受診率は上がると思う。子どもづれのママでも、躊躇なく受診できるような環境ができればいいと思う。子育て中だからと、ママ自身の受診が後回しにならないでほしい。
- 痛くなった時は、すぐに行くようにしています。
- 町医者が世代交代しやすくしてほしい。ニュータウンも高齢化が進み。医者の世代交代がうまくいっていない。住民、医療等色々老化してきています。
- 朝起きてすぐと就寝前は丁寧に歯を磨いています。インプラントが入っていますが、違和感や気になることはありません。歯間ブラシ SSSS を扱っているお店が少なく不自由しています。
- 朝起きて、食後、寝る前と 5 回ぐらいは歯を磨いている
- 丁寧な歯磨き、適切な歯ブラシの使用、歯科医院において、定期的な検診
- 虫歯をつくらない
- 虫歯や歯周病の割合が増加している気がするため、市でも喚起を多めにしたほうが良いのではないかな。
- 虫歯や歯周病についての治療は対応されていますが、口腔から喉の違和感やトラブルに対しては相談できる場所が解らないので市で対応先の公示をお願いしたいです。
- 虫歯の治療が長くて、いつも途中で通わなくなります。そして、次行きづらくなります。
- 虫歯による葉の欠損は 79 歳の今まで 1 本ない。最低 3 分間はそして 1 日 3 回の歯磨きを習慣づけたいが、さぼることも多い。洗面所にはタイマーも取り付けられている。また外出時の歯磨きの為、かばんには常に歯ブラシセットを入れ持ち歩いている。
- 虫歯になりやすく、いつも治療費も高額になりやすいので、気をつけています。
- 虫歯になってから歯医者に定期的にいきます。クリーニングを含めて重要と感じています
- 中々気をつけないと思うけど歯医者はあの音が苦手です。痛みとかもないとちょっと行こうと思えますが痛みが無い治療があればなああとネットで痛みない治療があるけど保険効かずに高いので保険がきいて治療ができればなあと思います。
- 知覚過敏や歯周病など虫歯以外の相談に乗ってくれる窓口があると嬉しいです
- 探すと歯科医院は結構ありますが、痛みやかぶせ物が取れてしまったりして急に行きたいときに対応してくれる医院はほぼありませんし、通院していても次の予約がびっくりするほど取りにくく完治するまで、日にちがかかりすぎる事。治療費も高すぎる事。何より、自分に合う医者かどうかピンキリに違うことが悩みです。歯医者は、受診を初めてしまうと完治するまで、医者を変えることが難しく、受診前にどういった歯医者さんなのか、チキンとわかる情報が欲しいとつねづね思っています。医院の HP もあまり信用できません。ある歯医者さんは男性の診察も良さそうな先生だったので、通い始めると、一度もそのお医者さんには院内で見かけることもありませんでした。
- 第一に定期的な口腔内のチェック
- 大切にしたいけど大切にする方法をはっきりさせるべき
- 大人になってから自分で稼いだお金で矯正をした
- 素人の自分のメンテナンスだけでは心配なので、歯医者さんに頼っております。やはり安心です。
- 洗口剤を使う。
- 先日 10 年以上前に治療した歯がだめになって治療しましたが、食生活にどれほど歯が大切な役割をしているかを身に染

みて感じました。歯がだめだと何を食べてもおいしく感じないことに気がつきました。

- 絶対に治さなくてはいけない子どもの矯正歯科は、美容では無いと思うので補助金が保険適応にしてほしいです。金額が高すぎて、兄弟の進学を諦めさせようと思います。矯正を諦めれば、虫歯になりやすく健康を害するし、親子で他の病気もあるので、これ以上収入を増やす事も出来ず困っています。我が家の切実な悩みです！
- 節目に歯科検診を行ってほしい。
- 赤ちゃんの頃から歯医者さんに連れて行く！怖い思いをさせない！歯間ブラシを使う！
- 昔50年前と歯の磨き方が変わっているので、最新の磨き方を小学生以下の年齢で教えて下さい。
- 正しい歯磨きをして虫歯の発生や歯周病にならないようにしてきたつもりですが、高齢になると歯と口腔の状態が悪化してきました。現在78歳自分の歯が2本無くなりました。歯周病は認知機能にも影響するそうなので、正しい歯磨きに努めてまいります。
- 正しい歯の手入れの仕方を知らない、気づいていない人は多いように思います。学ぶ機会があるといいかと思えます。
- 正しいブラッシングや歯磨きの頻度など、少しの気付きや取組で口腔の健康維持が出来ると思えます。また噛み締めなどの危険も周知されればいいかとも。歯肉炎や歯痛などは急激に現れることもあるので、相談窓口などがあれば心強いです。
- 成田市内でどこの歯科医にかかったらいいかわからずに行った歯科で、とんでもないずさんな治療をされました。治療してほしいところをはっきり言っているのに、関係のないところを2箇所も最初に削られましてしまい、一箇所は、仮締めのまま1年近く放置されてしまいました。多分そういったトラブルは私だけではないと思えます。なんとかならないものでしょうか。
- 成田市は救急歯科の対応が不十分であると感じるので、拡充をお願いしたい。
- 成田市の歯の検査を高齢者には無料にして欲しい。成田市の歯科医の質をあげて欲しい。かなり酷い歯科医もあります。
- 数年に一度無料で歯科健診やクリーニングを受けて視界からアドバイスをもらえる機会があるといいなと思えます。
- 睡眠中に唾液の分泌量の関係で、口腔内の状態がよくないと聞きます。なので口腔ケアは就寝前(夕食後)重点を置く様にしています。その際は歯ブラシだけでなく、糸楊枝やデンタルフロス等を使用しています。
- 進んでしまった歯周病が1ヶ所あるので、広がらないように毎食後歯磨きをしている。その際に歯周病予防効果のある歯磨き剤を使い、超音波で磨ける電動歯ブラシを用いている。両親が40代で歯周病が原因で総入れ歯となったので、絶対にそうなりたく無いと強く思っているいろいろと対策を取っている。定期的な歯科検診もそのひとつ。
- 診療費を何割か市で負担してくれたらもっと歯医者さんに通いやすくなる。
- 親が歯のことを子供に伝えても、子供はあまり聞かないと思えます。私も大人になり、歯の大切さを知ったので、地域で歯と口腔ケアについて勉強出来る機会があったら良いと思えます。
- 寝る前のハミガキは欠かさないだけです。たまにフロッシングする程度で虫歯など大きなトラブルは成人してからほとんどありません。やや歯茎の後退は気になりますが年相応でしょう。
- 寝る前には必ず歯磨きをする
- 食後にブラッシング、寝る前に、歯磨き粉を使い、ブラッシング。歯磨き粉を使った後は水でゆすがない事を心掛けています。
- 食事の後は歯を磨く習慣をつけること。
- 食後は歯磨き可能な環境ならするが、そうでない場合は糸ようじなどで歯間のつまりを取ります。普段の歯磨きではどうしても歯石がたまりやすくなります。食用重曹でのうがいや歯磨きを月に3度はしています。歯が気になったら受診予約が1か月またはそれ以上先になることも多々あるので、なるべく早めに歯科医院に連絡しています。
- 食後の歯磨き、またはうがい。歯磨きはゆっくり隅々まで。定期的なブラシの交換など。
- 食後の歯磨き
- 食後の歯磨き

- 食後に歯磨きをするようにしています。
- 食後に歯間ブラシを使うこと
- 食後に歯ブラシをする。週一回歯間歯ブラシをしています。
- 食後すぐに歯間ブラシと歯磨きをする
- 食後 30 分以内の歯磨き。歯間ブラシやフロスを使い丁寧に磨く事を心掛けています。
- 食べ物と、歯の健康と歯の健康が全身におよぼす影響を子供のころからおしえてほしい。それと、歯並びの矯正に関してもしその子にとっては恥ずかしいと思われるが歯の健康と体の健康の関係性を教えてほしい。
- 食べる時良く噛む
- 食べる事が好きなので、治して、ケアして、なるべく長く自分の歯で食べたいと思う。歯科衛生士の友達との話。「8020 を頑張っても、介護が必要な状態になると、総入れ歯の方が周りに迷惑かけなくて済むかもね」と。
- 食べたらず必ず歯を磨く。歯ブラシだけでなく、歯間ブラシやワンタフトブラシ等を使って、磨き残しを少なくする。
- 常時ポケット電動歯ブラシは持ち合わせている。会社、プライベート、予備を含めて 3 本持ち
- 障害のある子どもはいざ歯にトラブルが発生した際、治療ができるように定期的に歯医者に通院し、慣れる練習をしています。
- 障害があるので歯科医になかなか行けないし、毎日のケアも出来ていない。往診をしてくれる歯医者があるとたすかります。日医大北総病院は開始しています。
- 小学生になっても、昔の事ですから、歯磨きの習慣がなくて、知識もなく、永久歯は一回しか生えないと聞いた時に、かなりのショックだった事を、覚えています。歯が弱くて、前歯を治療する時に、麻酔をしてもらえず、トラウマになりました。
- 小学校では歯磨き学習はあるが、中学ではないと思う。口腔ケアについては中学、高校もきちんと再確認を兼ねて学んで欲しいです。
- 小さい子供がいても受診できる歯科医院が増えてくれると、気軽に受診できる。どこかに預けないと受診できないと、ちょっとした健診やクリーニングくらいだとなかなか受診できない。
- 小さいうちから、歯は大切であることを教えて、食事の仕方、清掃の仕方、虫歯や歯周病にならなければ、歯医者は怖いところではないという検診を徹底させて、補綴のために歯科医や技工士のお世話にならないように市民の皆さんに取り組んでいただけますようお願いしたいです。
- 出来る限り歯間ブラシも使う
- 出来る限りの対策を行えています。少なくとも年1回は歯科・眼科の検診を受けるよう啓蒙活動を行っています
- 出来るだけ長く自分の歯で食事を楽しみたいと思っている。口からものを食べられなくなることの辛さをもっと周知して欲しい。
- 就寝中、なるべく唾液を飲み込まないようにしている
- 就寝前は絶対に歯を磨いて寝る
- 首肩が凝ると口腔内の弱っているところが痛んだり腫れたりするから、そうならないように毎日、体操をしたりしている。
- 取組みは、食後に歯みがき。やさしい力で細かくみがく。
- 若い時からのケアの大切さが必要だったと、後悔している
- 自慢ではないが歯は良いので、歯医者にも褒められている。維持できるよう歯磨きを丁寧に行っている。好き嫌いなく栄養にも気をつけていくことを、子供の時から教えることが重要だと思う。
- 自分自身ではよく分からないので、定期的に歯科に通う事で悪化を防ぐ。
- 自分の健康は、自分で守る。歯は健康な歯を持つために自分で努力する。歯磨きは大事です、でも歯の裏側はうまく磨けません、だから歯科検診と歯のメンテナンスが必要です。歯に関する講話会などを市で開いてください。
- 自分が高齢者になって行くと共にこれまでかかりつけのドクターだった先生も同じように年を取っていきます。とても信頼していてそこ以外の医者に行きたくないのも、その先生が引退されることは、自分の歯が健康を維持できる限界のように感じています。この先生に講演していただくことで、この先生の技術をすべての他の先生に、特に若い経験が浅い先生にひ

きついでいただき、どこの医者にかかっても同じレベルの治療を受けられるようにしてほしいです。

- 自身の取組として、できる限り定期的に歯医者さんに行くようにしている
- 治療時間の延長
- 歯磨き等、食後の手入れをできる限り行うようにしている。
- 歯磨き指導をしてもらいたい。
- 歯磨きを朝夜欠かさず行っており、おかげで歯・口腔に支障がでることがなく、その面での健康は維持されていると思う。
80歳まで虫歯のない歯を保ちたい。
- 歯磨きをよくする
- 歯磨きをとにかく丁寧に、フロスをときどき行うこと。
- 歯磨きをする(2件)
- 歯磨きや歯のチェックはまめにやる。
- 歯磨きは手磨きでは限界があると思うので、電動歯ブラシを使っている。
- 歯磨きは時間をかけて優しく行うよう心掛けている。歯周病は怖い病気だということを国民が皆認識することが大切だと思う。
- 歯磨きは一日4回と定期的に歯周病にクリーニングしています。
- 歯磨きはこまめにするように心がけている。
- 歯磨きの徹底
- 歯磨きの習慣はあってもなかなか正しい磨き方なのかどうかは大人の学ぶ機会がないので、啓蒙していただけるとありがたいです。
- 歯磨きのあと、マウスウォッシュをつかったりしています。他によい方法があれば知りたいです。
- 歯磨きに加え、デンタルフロス、歯間ブラシによるケアも毎日欠かさないようにしている。
- 歯磨き・歯間掃除・マウスウォッシュ・舌磨き・口腔体操をしています。
- 歯磨き、歯間ブラシ、糸楊枝を行っています。
- 歯並びが悪く間隔が狭かったり広がったりするので、狭い部分は食べ物が溜まりやすい。そのため、寝る前は必ず歯間ブラシやフロスで歯間の詰まりには気をつけている
- 歯等に異常を感じたらすぐに歯医者に行く。
- 歯槽膿漏対策の出来る液体歯磨きに切り替えた。インプラント義歯を勧める歯科医の氾濫を規制して欲しい。骨に穴を開ける治療は脳神経系に影響を及ぼすので、歯科医がタッチする分野では無い。
- 歯槽膿漏歯周病が始まってからでは遅すぎます。30代からは歯の検診、通院は必要と思います。総入れ歯を早めないためにも歯がなくなるとかむときに不便で大変です。
- 歯石とり、検診を受けるようにしています。
- 歯石がたまらないようにしているが取組はそこまでしていない
- 歯石が付きやすい体質なので3か月おきに定期検診と歯石除去に行っています。中々良い歯医者さんを見つけるのが大変なので歯医者さんを見つける口コミやコミュニティがあれば助かりますね。
- 歯周病予防のため歯磨き後のうがい薬でうがいをしています。
- 歯周病予防のための歯磨き粉を使用している。矯正する場合、市から補助があれば、実施する機会になる。
- 歯周病等は年齢にかかわらず、なり得るので、若い年代からの取り組みも必要かと思う。
- 歯周病の予防のための歯磨き、デントフロスの活用。
- 歯周病の予防での定期診療
- 歯周病にならず自分の歯で物を食べていきたいので、大事にしていきたい。たくさん噛んで唾液を出すことが基本的に大切だと思う。歯のクリーニングで歯石を取ってもらい口の中の爽快さを他の人にも体験してもらいたい。
- 歯周病がありこれ以上拡がらないようにして、少しでも歯を残すようにしたいと思っています。

- 歯周病があり、定期的に歯医者にっています。私が子供の時は、親が仕上げ磨きをしたり歯磨きの関心が低かったです。やはり、小さいころからの歯への関心が大事だと思っています。
- 歯茎マッサージ
- 歯茎の腫れを経験してから、ずっと歯医者さんには通っています。日本は先進国なのに、口腔ケアに関しては遅れているとのこと。みんな虫歯や歯肉炎にならないと行かないというイメージからだだと思います。わたしもそうでした。もっと気軽に歯のお掃除に行っていっていいというイメージ定着も大切かと思っています！
- 歯間ブラシを持ち歩いていつでも歯間の掃除ができる様にしている。
- 歯間ブラシの利用
- 歯間ブラシと、フロスを欠かさずやる
- 歯間ブラシ、マウスウォッシュ、歯磨きを毎度やる
- 歯科検診の補助を増やしていただきたいです。
- 歯科検診の市の補助よりも歯ブラシの無料配布のが良い。
- 歯科健診事業は継続してほしい
- 歯科衛生士さんからお勧めされた歯ブラシを使っています
- 歯科医療費が高くなっているのが家計負担が大きくなっている。歯の健康づくりを積極的に推し進めていただきたい
- 歯科医師推奨の電動歯ブラシ使用後、フロスを使用。歯科医師推奨のキシリトールを歯磨き後や歯磨きできない時も食べる。寝る前にココナツオイルプリングを始めてから10年経つが、始めた初日から朝の口内が爽快になった。
- 歯科医師は歯の治療をする。市はできれば歯周病の予防の普及に力を入れてほしい。
- 歯科医師から大股で20分は歩いてとアドバイスがあったので、なるべく歩くようにしています。
- 歯科医院は虫歯になってから受診する所ではなく、歯の健康を保つために受診するという意識を市民に浸透させる事が必要だと思う。
- 歯科医院の情報提供。医療レベルや医療範囲があれば、なお良いと思う。
- 歯科医や歯科衛生士に定期的にチェックしてもらい確認している
- 歯科医に限らないが、急な痛みなどに対応してくれる病院は平日と言えども、なくなりつつある。どの病院も事前予約が必要であり、予約で時間が取れない場合には、当日の受診も難しい状況になることが多い。病院も慈善事業ではないので対応が難しいのは理解するが、何かうまい仕組みを用意できないものかと思う。
- 歯科医が、どこがいいのかわからなくて困っている
- 歯科に定期的に通って、歯の状態をチェックしてもらおうようにしています。
- 歯科での定期検診(クリーニング含む)は3000円以上と高額なため、市から一定の年齢層へ助成するだけでも、半年に一度の定期検診に足が向かいやすくなるのでは？その際、現金給付ではなく協力歯科での会計時に助成分を差し引くなどの対応がいいと思う。ぜひお願いしたい。
- 歯科でのチェックを行い、注意点を把握すること
- 歯医者の指導を元に優しく磨いている。歯と歯茎の間を良く磨く。
- 歯医者によって治療のうまさがピンキリなのが怖い。
- 歯医者によって技術に差がありすぎなので、そこをどうにかして頂きたいと思うことが多いです。
- 歯医者さんも他の病院も美容院さえも、コロナのせいで控えめにしていました。健康的な日々を取り戻していきたいです。
- 歯医者さんに行く機会をもっと作る
- 歯医者さんが混んでいて、思った時間に受けられない
- 歯を磨くくらいしかしていません
- 歯を磨く。時々、液体消毒。
- 歯を大切にしたい。
- 歯や口腔内の事が全身の健康に影響する事が知らなかった。もっと知る機会が増えたら良いと思った。

- 歯ブラシを使わなくても歯の清潔を保てる用品の紹介や試供品の配布をして欲しい。
- 歯ブラシや、歯磨き粉へのこだわり。
- 歯ブラシの他、歯間ブラシとマウスウォッシュを使用
- 歯ブラシだけではなく、歯間ブラシも併用して歯磨きをしている。その人に合った歯磨き法を指導してくれると良いと感じている。
- 歯はとても重要と考えているので、8020を意識して、毎日のケアを欠かさず行っております。
- 歯は、生きていく上で一番大切だと思います。美味しく、楽しく食べ続けられる様に、歯を磨くなど自分ができる最低限の事からとどんどんできることを増やせると良いと思います。
- 歯の問題は、痛みや違和感があっても後回しにされがちなので、もっと積極的に受診することを勧めてほしい
- 歯の不健康は万病の元、いつも気をつけています。
- 歯の表裏と歯茎を丁寧にはみがきする
- 歯の痛みで緊急時、市内の歯科で予約無しのため、先延ばし断られた為、他市でネット予約して緊急でも治療できました。その関係で市内の歯科はやめました。改善されているのでしょうか？
- 歯の治療や検診はかなり費用がかかると思います。もう少し気軽にに行けるようになると健康を保てるようになるのではないのでしょうか？
- 歯の健康を意識して考えています。市内に、歯科医院はたくさんあると思いますが、情報が乏しいので、『すぐに診てもらえる』など、わかったらうれしいです。
- 歯の衛生は大事であるとは思っているが、虫歯にならない限り歯医者には行かない状況である。
- 歯のチェックの為に定期検診に行く。コロナが落ちついてきたのでまた再開したいと思います
- 歯のケアが健康維持に大事なこと。健康保険の負担が市も私当人も少なくなる。もっとアピールしましょう。
- 歯のクリーニングに定期的に行くこと^{^^}安くは無いけど予防を兼ねて行っています。ホワイトニングは保険診療にならないけど、詰め物とかは銀歯じゃなくて白いものが保険診療に全てなるといいなと思います。(先進国で詰め物銀歯なの珍しいです。金属アレルギーとかもあるし。でもそれは市だと改正は難しいので、国に意見を伝えてくれたら嬉しいです。)
- 歯と口腔内を健康に保つ食事療法や運動を知る機会を zoom で企画して頂けたらと思います。
- 歯と口腔の手入れが思ったより、かなり繊細で手間の掛かることだと気づきました。
- 歯と口腔の健康づくりの為に間食含め、食事をしたらすぐに歯を磨くようにしています。また歯の定期検診を受けて歯の健康維持に努めています。歯や口腔の健康づくりについてもっと知識を高めて将来、8020 運動の方針になれるよう歯を維持して頑張りたいです。
- 歯と口腔の健康づくりについていろいろな講演会、講座等あれば参加したいと思います。ぜひ、企画して下さい。
- 歯と口腔のケアについて、学ぶ機会が少ないように思います。気軽に参加できるイベント等があると有り難いです。
- 歯と口腔ケアが健康管理に重要との理解から普段から気をつけています。
- 歯だけでなく、歯茎も磨く。歯間ブラシを使う。
- 歯が痛くならないとなかなか歯医者へ行くキッカケが無いです。職場での歯科検診でもあれば、歯と口腔の健康づくりがもっと身近に感じられるかもしれません。
- 私事ですが、子供時に歯科によく通っていました。その時の先生には申し訳ないのですが、治療時間の長さや治療時の痛みが苦痛で今でも歯科へ行くことをためらいます。子供達には私のような経験・悪い習慣を持ってほしくなく、小さい時から定期健診を受けさせてきました。子供の担当の先生も良い先生で、短時間で子供とコミュニケーションをとりながら治療をしていただきました。学校での検診、啓蒙活動も子供たちに良い影響になっていると思います。お陰で虫歯もなく、自分でしっかりとケアをしています。子供に歯と口腔の健康づくりのために活動していただきたいです。
- 私は妊娠してから、市の検診の勧めで歯医者にいきました。妊娠で虫歯になりやすいリスクがあったせいかもしれませんが虫歯が発見されて、そこで歯医者の方の大切さを知りました。それにより自分の子供にも、夫にも歯科検診の大切さを伝えることができました。検診を勧められて本当に感謝しています。

- 私は子供時代、歯を磨くという習慣がまったくなかった。今考えると信じられないが、まったく歯を磨いたことがなかった。中学校3年生のときの担任の男の教師が言った言葉は、「犬や猫は、普通は虫歯にならない。しかし、人間のように歯を磨いてやると虫歯になる」ということでした。信じられますか。歯が丈夫な動物でも歯を磨くと虫歯になるなんて。しかし、私はその言葉を信じてしまいました。なにしろ、学校の先生が言った言葉ですから。学校教育の大切さをうんぬんする前に、学校の先生の資質の向上のほうが先であるとつくづく思います。現在は間違ったことを教えるような先生はいないことを信じたい。
- 私の子供の頃は歯磨きの大切さがあまり教えられてこなかったので銀歯がいくつかあり小さい頃からのしっかりとした歯磨きの習慣をしっかりとっておけばなあと後悔しています。なので今は、夜は時間をかけて丁寧にフロス、歯間ブラシなど使いながら歯磨きをしています。定期的な歯のお掃除も歯科医に行き長く自分の歯で生活できるよう取り組んでいます。
- 市内には数えきれない歯医者さんがありますが、歯医者を選び方、良い歯医者さんを見つけるのがなかなか難しいです。治療の前に話を良く聞いてくださる歯医者さんとか、治療方法をきちんと丁寧に説明してくれる、口腔機能の低下を予防する方法を教えてくださいというような歯医者さんを見つけるのが難しいです。市としても、もっと歯や口腔機能の低下を防ぐ講座や無料で検診が受診できる機会を増やして欲しいです。
- 市主催の出張講座など職場で学べる機会があれば、いいと思いました。
- 市の歯科健診を受けられる市内の歯科を増やして欲しい。
- 市の検診で歯科検診が500円かかるのはなぜでしょうか？たかが500円かもしれませんが無償で、その他の健康診断と同じように集団でできるとハードルが下がると思います。個人受診だと、予約も必要だったり、不具合が見つかった時に、治療は出直すように言われたり、1回で終わらなかつたりして痛くないなら面倒だからいいやとつい後回しになりがちです。集団検診で不具合を見つけて、個別受診となった方が良いのではないのでしょうか？
- 市の健康診断の時に一緒に受診できるようにしてほしいです。
- 市で無料検診を組んでほしい
- 子供の時から虫歯が多いので、これ以上悪くならないように歯磨きやうがい口内を清潔に保つなど気をつけています。
- 子供の歯には大事に思っている、自分は二の次になってしまっている。これから気をつけるようにしたい
- 子供の頃から歯磨きの習慣をつけていれば大人になっても歯は健康でいられたともあつてるので自身の子供には歯磨きの習慣を口うるさく言っています。効果もあり、小6と中3の子供の虫歯はゼロです。
- 子供の頃から歯ぎしりが酷かったがマウスピースをつける知識が無かったため歯並びや骨隆起？など今になって治療する事も出来ずにいます。歯科医院で聞くと歯ぎしりの方は大変多いと聞くので虫歯や歯周病だけでなく歯ぎしりについての注意点など教えていただけたら有難いと思います。
- 子供の口腔環境が気になっているので仕上げ磨きに力を入れています。保育園、学校でも歯磨き指導をしてくれているので助かります。合わせて歯に優しいお菓子や食品の指導もしていただけると嬉しいです。
- 子供に歯の大切さを機会あるごとに伝えていってほしい
- 子供が夜間に歯の痛みを訴えた時に受診できる場所があったらいいなと思いました。
- 子育てのためあまり歯医者に行ったり、歯ブラシに時間をかけることができていない。
- 子育て、家事、仕事…で自身の健康づくりに費やす物理的な時間と精神的な余裕がない、のが現状です。
- 子どもへの仕上げ磨きを小学生までは最低でも朝と晩は実施したこともあり、今でも子どもは虫歯がない。仕上げ磨きの重要性を幼児の健診で知ることができてよかった。
- 子どもの幼少の頃、仕上げ歯磨きに気を配り、歯科の定期受診も欠かさず行っていた結果、高校生ですが今も虫歯ゼロを継続中です。
- 子どもの矯正歯科を検討中だが、健康のためにも必要な事だが、高額すぎて悩んでいる。
- 子どもの矯正に関して自治体等から助成金が出れば良いと常々思っております
- 子どもの矯正について(大人もそうなのでしょうけど)、本来は保険適応にするべきと考えています。裕福かどうかで矯正できるかどうか左右されます。子どもが多い家も受けられにくくなります。ですが、噛み合わせは健康に関わることは明

確です。適切な矯正治療が受けられることは、将来的な医療費を減らすことにつながるはずで。 (歯科以外の医療も) まずは市として、補助をするなどの支援を始めませんか？先駆けとなって、歯科矯正の重要性を国にも示してほしいと考えています。また、別件ですが、どこの歯医者か丁寧でいいのかなど情報が足りません。市民の口コミの情報などが見られるところがあったら助かります。行ってがっかりする医療で1番多いのが歯科です。

- 子どものフッ素塗布や矯正についてもっと詳しい情報が欲しいです
- 子どもたちの歯に関しては、定期検診やフッ素塗布など気を遣っているものの、自分の事はかなり後回しにしているので、毎日のセルフケアではどうすることが大切なのか知る機会があればいいなと思います。
- 子どもが夜歯を痛がった時があり、救急診療所も曜日での開院だったので困った。
- 仕方が無いとは思いますが、歯科医師によって治療への向き合い方や積極性、患者の側にたった配慮等の対応が大きいのである程度の標準治療品質がそろえばガイドラインがあれば良いと思う
- 残っている歯を、大事にするため歯間ブラシを愛用しています。
- 最近でこそ土日診察を行なっているクリニックは増えてきたが、まだ土日休みの社会人にとってはなかなか受診しづらいと感じる。
- 最近、市からの歯科検診の人が増えてしまい、予約しているのに間に無理に割り込み検診されてしまい、30分で済むところを90分もかかってしまった。混んでいる歯科医を入れなくて欲しい。差し歯が取れただけで、駅近を探しても、初診お断りで苦勞してようやく見つけて通っているのにダラダラ質問の患者ばかりでイライラした。
- 砂糖は勿論のこと、フッ素も良くないと聞いたことがあります。医者は製薬会社に忖度せず、市民のために正しいことを伝えて欲しいです。
- 今年の夏、自分の歯の1本を、神経を取り差し歯にしました。2年ほど前から気になっていた歯でしたが痛みがなかったため、ずっと親の介護を優先して自分のことは後回しにしていました。痛みが伴ってから、やっと歯医者に行った時には遅かったのです。一生自分の歯で過ごせると思っていたので、かなりショックでした。それからは、定期検診の時期でなくても、少しの違和感があれば診察していただいています。好きな食べ物を気にせず食べられることはとても大切だと感じましたし、歯痛は頭痛にもつながり、生活に支障をきたします。毎日幸せに生きるためにも、歯はしっかりケアをしていきたいと思っています。
- 高齢者参加型の「楽々うんどうクラブ」に参加しています。体力維持や脳トレ、その他何でも(歯の健康も)健康に関することを発信、受け止めるよう参加者みんなで努めています。
- 高齢者は、ミュータンス菌や口移しで子どもに虫歯がうつるなどの知識がない人がいる。同じ箸で幼児に食事をあたえるなどで、姑と嫁の間に亀裂がはいることがある。高齢者にも、現代の知識のアップデートが必要である。
- 高齢者の口腔の状態を観察する機会があるのですが、やはり自分の歯が多く残っているほうが、全身の健康状態が悪くならない傾向と感じます。口腔の状態が健康に大きな影響を与える事を市民の皆様に広く周知する機会をもうけていただきたいです。
- 高齢者だが、歯磨きしにくい「親知らず」の磨き方や歯間ブラシの使い方など、歯のメンテナンスについて今まで正式に教わったことがない。小学生への教育だけでなく、大人への教育も実施してほしい。
- 高齢者が安価に定期的に受診出来る口腔健康維持制度があればありがたいです。
- 高齢者(歯のない人)のための食事や治療方法
- 高齢者(介護認定を受けている人)向けの訪問歯科と訪問理美容(高齢者宅に出向き調髪する)の充実を強く希望します。自立して生活するのにどちらも欠かせません。関東地区の他自治体でも訪問理美容を実施している所も有ります。なお、国際医療福祉大学成田病院には口腔外科があり、入院・手術の際には歯の保護にも配慮してもらえて、その様な病院が成田市に開院して大変良かったと感謝しています。
- 口臭が気になるからケアの方法を知りたい
- 口腔内を清潔に保たないと健康を害すると歯科医から言われ、その後、定期検診等に積極的にいこうと心がけている
- 口腔内の健康は全身に影響するのでもっと宣伝して欲しい

- 口腔検診無料対象歯科医院の対象拡大、自分かかりつけ医は対象外
- 口腔ケアと身体の健康の密接な関係はまだ知られていないため啓発が必要だと思います。
- 口腔ケアが大事なことを知ったのは高齢となってから、早くから大切なことをケアの具体的実施方を周知してほしい。
- 口の中を清潔にするために、水を頻りに飲むようにしている。歯科治療の場合、次の予約が3~4週間先になるので、治療がスムーズに進まないのには、とても困っています。患者が多いので仕方無いのですが。
- 公津の杜駅前の昼間の、子供の通学時間帯での禁煙。副流煙の影響排除。
- 現状で十分で、今以上に予算を割く必要はないと思います
- 現在治療中です。歯根が折れてしまい義歯を入れる予定です。一本具合が悪いだけで食事には不都合な事も多く歯の大切さを実感しています！費用の支援などを充実して頂けたらありがたいです。
- 研修会など市民が学習できる機会を増やしてほしい。開催も定期的に行うなどし、仕事をしている人でも参加しやすいように対応してほしい。
- 検診などの予約が取りやすければ歯医者さんに行きやすくなると思います、現状待ち時間が長かったりして仕事が忙しくつい後回しになってしまう。歯磨きと液体洗剤などを併用して気を付けています。
- 健康保険適用外である定期クリーニングの補助をしてほしい。例えばチケットを出すなど
- 健康長寿のため大事にしている。
- 健康寿命をなるべく伸ばしたいので、若いうちから定期的に歯医者に通い虫歯がないかを確認してもらっている。歯科医師より噛み方のくせなどを聞いてなるべく直すように心がけている。
- 健康の源は歯からとも思います。いつまでも自分の歯を大事に持っていきたいのですが年齢とともに弱っていきます。努力はしたいです。
- 健康づくりに関する教育が、予防の面から最も大切に感じる
- 教育の一つとして歯の手入れ、歯周病、8020についてなどを、小学校レベルで全員に実施することが必要と思う。治療よりも予防で歯科医にかかるような取り組みが大切と思う。
- 強く磨き過ぎず、4回/日で時間を決めて行っている
- 急に歯の詰め物が取れてしまった時、休日や祝日の場合に、緊急で、みてもらえる歯科体制を作してほしいです。
- 久しぶりに歯医者に行ったら虫歯一本の治療で1万円超えた。なかなか行けないと思ってしまった。
- 起きてすぐに歯を磨くこと風邪や病気にかかりにくくなった
- 気軽に相談できる窓口があると嬉しいです。
- 基本、かかりつけでいいかと。
- 噛む回数を多くしたり、歯磨きと、歯茎磨きをする。
- 学校や歯医者等で、歯と健康については学ぶ機会が多いので、予防や治療やホワイトニング等の促進に取り組んでほしい。家では電動歯ブラシや歯間ブラシを使い、フッ素やホワイトニング効果のある歯磨き粉を2種類使用しています。
- 海外では実施されているという、水道にフッ素を混ぜるというのを実施してほしい。
- 回覧板で市の検診は見かけるが、強制力を持って行った方が広まると感じた。検診表を送付されるといかなければ……という気持ちになる
- 会社単位で口腔衛生の指導をして欲しい
- 会社の定期検診で歯の定期検診もあるといいです。
- 家庭によって口腔環境の差が大変大きいことにショックを受けている。子どもは家庭環境によって大きく左右されている。学校で歯科検診を実施し、家庭に呼びかけても治療率はかなり低い。一生自分の歯を大切にしなければ大変なことになるという意識と知識が広がってほしい。
- 家族全員でちゃんと定期検診に行くこと
- 家族に車椅子を使用する高齢者がおり、歯医者に行く事案ができたため、バリアフリーや車椅子対応の歯医者の情報を市の社会福祉課や健康増進課に問い合わせしたが、市で全く把握されておらず、わからないとの事。市で配付している

病院一覧で、一件ずつ電話をして自分で調べて連れて行った事がある。市でも、きちんと把握して、歯科病院一覧などにも載せてもらいたい。車椅子だと入れないからと今まで市の歯医検診も諦めていたが、そういう情報があると、家族も連れて行きやすいと思う。病院に車椅子の設置があるかも、すごく大切な情報だと思います。

- 家族が口腔癌に罹り、口腔衛生については随分勉強した。私も、家族の口腔癌までは関心が薄く、いい加減だった。歯は自分で確認できる部位にも関わらず、つつい軽く考えてしまいがちな部位なので、広く口腔衛生の重要性について広報した方がいいと思う。
- 何年も前から定期的に歯科健診をしている為、歯石を除去したり歯茎のぐらつきを調べる事で安心できる。
- 液体ハミガキやフッ素配合歯磨き粉などの試供品配布。マウスウォッシュの重要性。
- 衛生を保ちたい。
- 一日30分以上の歯磨き
- 医療従事者として、口腔内環境はとても大切であると思います。啓発もとても大切だと思います。まだまだ認知が少なく感じます。
- 医療施設で働いていますが、歯と病気は密接な所があるので。持病のある方は特に、歯と口腔に気をつけて欲しい。歯が悪くなると病気が悪化。声をかけているが、なってから気づく方が多い
- 医療系は高い。補助を願いたい。
- 医療の進歩が進んでいる今でもやっぱり歯の治療は痛い。なるべく歯医にかかりたくない。虫歯にならないようにちゃんと食後には歯磨きします。
- 以前、とてもドライな態度を取られたことがあり少し嫌な思いをしました。もっと親身になってみってくれる人が増えたらいいなと思います。
- リステリンを使っている。
- よく磨く歯科へ早めに受診する
- ゆっくり良く噛んで食べるように気をつけている。
- もっと早く子供の時若い頃から取り組みれば良かった
- もっと真剣に取り組まなければいけないとは分かっているのですが・・・
- もう少し予約の取りやすいようにして欲しい。
- もう10年近く、3か月に一度、近くの歯科医院で定期検診を受けています。虫歯等が出て、痛くなってから行くのではなく、定期的にチェックしていただけるのは有難いと思っており、これからも続けていくつもりです。
- メタボリックシンドロームのように健診項目に追加してくれた方が、診断結果とコメントが届くので、関心が持てる様になるのではないかと思います。
- むかし虫歯予防のポスターを描いて応募した事があります。そういうのを現在もやっていると思うので一般の人にも目につきやすいイオンなどに掲出すると改めて歯の健康について関心を持てる人が増えると思います。
- まずは定期的に歯医者に通うこと
- マウスウォッシュや糸ようじを使う
- マウスウォッシュは欠かさず行っている。電動歯ブラシ(ある程度高価なタイプ)はやはり有効だと感じる。
- ほぼ総入れ歯なので気にしていません。
- フロスを使う(2件)
- フッ素含量の多い歯磨き粉を使い、食後のたびに歯の清掃を行う。
- ヒトの歯は何もしなければ50年が限界であり、歯の喪失が寿命を決めていた時代もある。その意味で、歯の定期検診と適切な治療は、他の疾患とはやや異なるものだと思う。それをどうするかは各人の考え方と努力の問題なので、行政が税金を使って実施すべき事としては、初等教育段階での指導だけだと考える。
- パニック障害や不安症などで行きたくても行けない人が安心して行ける様な取り組みを考えて欲しい。
・そういった障害への知識や理解を身に付ける講義などを歯科医師会等で行う

・それらの障害を持つ人は待ち時間をなるべく少なくする為に優先的に案内する(受付や予約の際自己申告し、通院中、治療中であることをマイナンバーカードの通院歴などで確認するなど)

・途中で退席しても大丈夫という安心感があるとありがたい

・そういった取り組みができる歯科医院はそれを市や医院のホームページ等で知らせるなど。ご検討のほど宜しくお願いします。

- なるべく柔らかい歯ブラシを使い、力をいれずに歯磨きをすること。
- どんなに忙しくても、歯ブラシを習慣づける。
- デンタルフロスをまめにを行うようにしています。
- デンタルフロスの使用、歯磨き粉を選んで使う
- テレビや新聞などで、歯周病菌が体に回ることと病気の関係について知りました。口腔環境を健全に保つことが心身の健康につながると考えますが、忙しさなどから、ついつい定期健診を後回しにしてしまいがちです。口腔ケアが市民にとって身近になるような施策をお願いします。
- できるだけ受診したくありませんが、仕方なく通っているのが現状です。今後も多分変化はないと思います。
- できるだけ長く自分の歯を抜かずに残すこと
- チョコレートは虫歯予防のためたべない様にしています。
- たくさんの歯科医院があるが、どの歯医者を選んだらいいのかわからない。
- すこしでも食べ物を食べたらずぐに歯を磨くよう心がけています
- コロナ禍であまり気にならなかった歯石、ホワイトニングをマスクが外れることにより口元が見えるので再開した。
- コロナで子供の歯磨き教室や、そもそも学校で歯磨きをする機会が奪われ、口腔衛生が保てていない。おかげで歯磨きが嫌い、歯磨きの仕方がわからないという始末。早急になんとかしてほしい。
- これからは行きたいけど、なかなか身近ではない
- このようなアンケートがあるだけでも意識・関心の向上につながると思います。
- きちんと歯科の定期検診を受ける
- キシリトールガムを噛むこと
- かかりつけ医を見つけられない。歯科医によっては、やたら抜く医師がいるとも聞く。市内の歯科医師会での研修会・勉強会は行われているのだろうか。そのような機会を経て、認定医のような制度があると有難い。
- かかりつけ医さんにお任せしてしまっている
- かかりつけ医があり、定期的に診察を受けている。
- かかりつけの歯医者に定期的に通う
- お口の健康が、歳を重ねると特に健康寿命に関わってくると感じています。今ある歯を、大切にしたいと思っているので歯科検診は大切だと思います。
- お休みの日とかにかかれるように整備して欲しい
- お陰様で歯だけは健康で、歯磨きを徹底する事以外に特に気をつけている事は有りません。
- おやつに昆布などの虫歯になりにくいもの、よく噛むものを食べる
- おはようございます。兎にも角にも「口」は燃料の注ぎ口、生命がある限り行われる行為ですので大事に大切に維持し使います。
- オーラルケア用品にはこだわる
- うちの子供は定期検診で〇〇歯科やフッ素塗布したりフッ素入った歯磨き粉で仕上げ磨きもしていたがあつという間に虫歯が酷くなった。子供の歯は検診でも見つけづらいのか黒くならずであった。ガムや予防のトローチなど紹介して欲しかった
- うがいと歯磨き。
- インプラントをしたのですが、成田市の歯科医でお願いしようと思ったのですが、やはり、臨床数の多い都内でした。

臨床数の多い所、評判等を教えて頂く訳には、いかないのでしょうか？

- インプラントやホワイトニングについてなど簡単に相談できたらうれしいです
- インプラントやセラミックなど高額な治療の補助金をお願いしたい。
- いつも健康に関心の高い成田市の働きに感謝しています。これからも頑張ってください。
- いつでも混んでいるので、気軽に行ける様にして欲しい。
- SNS 信用できる者の、歯磨きの回数、要領の情報が得られると良い。
- 3分歯磨きを心がけています。
- 3食後の歯磨きを欠かさないこと
- 3ヶ月毎に検診してる
- 3ヶ月ごとに定期検診を受けている。
- 2025年の医療費崩壊の情報をもっと広く国民(市民一人一人)に知らせて下さい。その対策として、医者・病院・製薬会社と販売業者・医療製品の販売業社等々の見直しをお願いします。良い例が夕張市は財務破綻で市運営の病院が無くなって、診療所になったお陰で老衰で亡くなる人が増えたと聞く。又ベット数全国1位の高知県と2位の鹿児島県の医療費と少ない県医療費は10万人当たり3割ほど違うと統計に出ているそうです(すみません3割はうろ覚えなので?)最近感じることは成田市内の病院の先生や町医者の費用対効果を意識した、無駄と思える入院・通院・検査・薬とボランティアの方々なのかは知る由もないが、人が多いと言う事は人件費の無駄と思われるほどに手持ち無沙汰と人が多すぎます。皆さんにこの様なことを書いた処で、いつもと同じで無視されるは分かっている。が、中には終戦直後の様なお方が居られるかとも思い書いています。明日の日本国をしょって立つ子供たちの為に絶対必要な情報を、明日の日本も安泰だと思って日々夢を持って(少子化対策に通じる結婚)過ごして欲しいのです。お気に障りましたらお許しを願います。感謝奉仕
- 2022年度40~50歳代女性に限定した健康講座(於:福祉館)のテーマに歯と口腔があり、珍しかったこともあり貴重な機会と受け止めました。毎日必ず使う部位であるにもかかわらず、相も変わらぬ磨き方といった点を反省しつつ、定期検診を歯科医院で受診していますが、年々定期検診の料金も値上がっているため、上記のような健康講座があるととても助かります。年齢に特化して行うというのもよいのかもかもしれません。
- 1日3回食事の後は歯を磨く様にしています。あまり磨き過ぎは良くないと言われてますが。
- 1日3回は歯を磨く
- 18歳以上の誰でも手軽に検診が受けられるように、割引とかクーポンとか作ってほしい

まとめ

「歯と口腔に関するアンケート」にお答えいただきまして、ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症が流行以降の、歯科受診の増減をお伺いし、70%の人が変わらないと答えられた一方、約30%の人が減ったと回答し、受診控えに感染症の影響があったことがわかります。

また、「成人の歯周病予防」や「子どものむし歯予防」などの医療対策については、歯科医師会と連携した環境整備の必要性があると感じました。

アンケート結果やいただいたご意見等を踏まえ、歯科保健事業について実施方法や周知方法を検討し、市民の皆さまが自ら歯と口腔の健康づくりに取り組めるよう努めて参りたいと思います。